

取扱説明書 国際 VHF トランシーバー

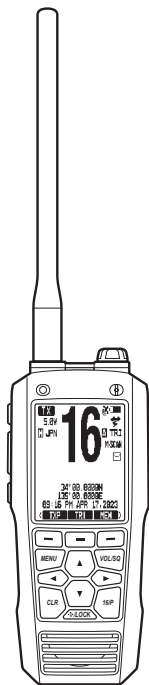
品番 MHS338GJ

本製品を使用するには、総務省発給の無線局免許が必要です。免許を受けずに使用した場合、電波法第 110 条の規定により処罰の対象となります。



Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。



このたびはユニデン国際 VHF トランシーバーをお買い上げいただきありがとうございます。

- 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
- この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
- 保証書は大切に保管してください。

もくじ

はじめに	5	ストラップを取り付ける.....	23
安全上のご注意	5	充電器に電源を接続する.....	24
■ 本体の取り扱いについて.....	6	■ 充電器を固定する場合.....	24
■ バッテリーの取り扱いについて.....	8	バッテリーを充電する.....	25
■ 充電器の取り扱いについて.....	10	■ 本体にバッテリーを取り付けたまま 充電する.....	25
使用上のご注意	11	■ バッテリー単体で充電する.....	25
電波法に関するご注意.....	11		
運用上のご注意.....	11		
非常時の運用について.....	12		
● DSC (デジタル選択呼び出し) 機能 を使用して自動送信する場合.....	12		
● 16チャンネルを使用して手動送信 する場合.....	12		
お手入れについて.....	13		
防水性能について.....	13		
DSC機能について.....	14		
ご使用前の準備	15	基本操作のしかた	27
本体と付属品	15	ご使用になる前に	27
各部のなまえ	16	チャンネルについて.....	27
■ 本体 (正面).....	16	電源を入れる/切る.....	28
■ 本体 (背面).....	17	音量の調節.....	28
■ 充電器.....	18	スケルチレベルの調整.....	28
■ アクセサリーケーブル.....	18	操作インターフェースについて.....	29
■ 液晶ディスプレイ.....	18	文中での表記について.....	29
準備する	21	文字入力について.....	29
アンテナを取り付ける.....	21	■ 文字入力のしかた.....	29
バッテリーを取り付ける.....	21	MMSI番号について.....	30
アルカリ乾電池用トレイを使う.....	22	■ MMSI番号を登録する.....	30
■ アルカリ乾電池を入れる.....	22	キーロック.....	31
ベルトクリップを取り付ける.....	23	受信と送信のしかた.....	32
■ 取り付け.....	23	メニューについて.....	34
■ 取りはずし.....	23	■ 操作のしかた.....	34
		ソフトウェアキーについて.....	36
		設定する	40
		バックライト (BACKLIGHT).....	40
		液晶コントラスト (CONTRAST/RVS).....	40
		キータッチ音 (KEY BEEP).....	41
		SOS ストロボ (SOS STROBE).....	41
		無操作タイムアウト時間 (INACTIVITY TIMER).....	41
		キー割り当ての設定 (KEY ASSIGNMENT).....	42

チャンネルモード (CHANNEL MODE) ...	43
ウェザーチャンネルの設定 (WEATHER RADIO)	43
デュアル/トリプルウォッチの設定 (DUAL/TRI WATCH)	43
優先チャンネル (PRIORITY CHANNEL)	44
■ チャンネル名を登録する	44
スキャン一時停止時間の設定 (SCAN PAUSE TIMER)	44
チャンネル名の設定 (CHANNEL NAME)	45
ノイズキャンセル (NOISE CANCEL)	45
受話音質調整 (RECEIVE AUDIO PITCH)	45
ローカルタイム (LOCAL TIME)	46
操作モード・ウォッチモードについて ...	47
■ 操作モード	47
■ ウォッチモード	47
スキャンモードについて	48
ウォッチモードについて	48
■ ノーマルモードとウォッチモードを 組み合わせる運用する	49
メモリーチャンネルを設定する/ 解除する	50
■ 選局中のチャンネルを設定する	50
■ メニューで設定する	50
スキャン操作のしかた	51
■ スキャンモードにする	51
■ スキャンモードを終了する	51
■ スキャンモードとウォッチモードを 組み合わせる運用する	51

DSC (デジタル選択呼び出し) 機能について 53

DSC 機能をお使いになる前に	53
DSC とは	53
DSC の設定	54
DSC の個別およびグループディレクトリ の設定	57
■ 個別ディレクトリの管理	57
■ グループディレクトリの管理	58
DSC 機能を使う	61
DSC コール	61
■ 個別呼び出し	61
■ グループ呼び出し	62
■ 全船呼び出し	63
■ 呼び出しに応答する (個別呼び出し/グループ呼び出し/ 全船呼び出し)	64
■ 呼び出しへの自動応答	65
■ テストコールの発信	66
DSC コールログ	67
位置情報要求	69
■ 位置情報要求を送信する	69
■ 自局の位置情報を送信する	70
■ オートポーリングを使用する	71
DSC セルフテスト	73
DISTRESS コール (遭難警報) の受信 ...	74
DISTRESS コール (遭難警報) の 自動送信	75
DISTRESS コール (遭難警報) の 取り消し	76
■ MOB ソフトウェアキー	77

もくじ (つづき)

GPS 機能について 78

GPS 機能を使う	78
■ GPS の設定 (GPS メニュー)	78

ナビゲーション機能について 80

ナビゲーションを使う	80
ウェイポイント (地点) とルートを 設定する	80
■ ウェイポイントを設定する	80
■ ルートを設定する	82
ナビゲーションを使う	84
■ ウェイポイントナビゲーションの 開始	84
■ ルートナビゲーションの開始	86
■ パラメータの設定	87

NMEA について 88

NMEA の運用	88
■ 位置データ出力	88

メニューについて 89

GENERAL SETUP (一般設定) メニュー	89
RADIO SETUP (無線機設定) メニュー	90
GPS メニュー	91
WAYPOINT SETUP メニュー	91
DSC SETUP メニュー	92
SET SCAN CH メニュー	93
ABOUT メニュー	93
RESET メニュー	93

ご参考 94

故障かなと思ったら	94
工場出荷時の設定に戻す	96
チャンネルリスト	97
おもな仕様	98
別売品一覧	99

はじめに

■安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。



けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号			行為を指示する記号	
 一般的注意	 禁止	 分解禁止	 ぬれ手禁止	 一般的指示	 電源プラグを抜く


■安全上のご注意(つづき)

■本体の取り扱いについて




警告


使用温度範囲を超えた温度となる場所では使用しないでください

 故障の原因になることがあります。


強い磁界や静電気の発生する場所では使用しないでください

 故障の原因になることがあります。


引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください

 引火や火災、爆発の原因になります。


直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口付近など、温度変化の著しい場所に放置しないでください

 ケースや部品が変形、変色したり、火災、故障の原因になることがあります。


製品を分解・改造したり、ご自分で修理したりしないでください

 火災、感電などの事故、または故障の原因になります。


煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合は、すぐに使用を中止してください

 そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。異常が認められた場合はすぐに電源を切り、お買い上げの販売店、または弊社お客様センターにご連絡ください。


指定以外のバッテリーを使用しないでください

 火災、感電、故障の原因になります。


アンテナを取り付けずに送信したり、送信しながらアンテナを取り付けたり取りはずしたりしないでください

 感電、故障の原因になります。

コネクターや端子部に金属片やゴミが付着したまま使用しないでください

 ショートして発火の原因になることがあります。

落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください

 けが、故障の原因になることがあります。

■安全上のご注意(つづき)

警告

アンテナやストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください



身体に当たってけがをしたり、製品の故障や破損の原因になります。

針金などの導電物を差し込まないでください



感電や故障の原因になることがあります。

注意

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の大きいところなど、不安定な場所に置かないでください



落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

お手入れの際は、シンナーやベンジンなどを使用しないでください



変質・変色の原因になることがあります。
お手入れは乾いたやわらかい布で行ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少し含ませ拭いてください。

テレビやラジオ、またはインバーターを内蔵した電子機器の周辺では使用しないでください



電波障害を受けたり、与えたりすることがあります。

アンテナを強く折り曲げたりしないでください



変形や破損の原因になることがあります。

長期間ご使用にならないときは、必ずバッテリーを本体からはずしてください



バッテリーが液漏れするなどして、故障の原因となります。

■安全上のご注意(つづき)

■バッテリーの取り扱いについて



警告

分解や改造をしないでください



液漏れ、破裂、発熱、発火の原因になります。

火の中に投げたり、加熱したりしないでください



バッテリー内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。

堅い床に落とすなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください



外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があります。そのままの状態で使用すると、破裂、発火、発熱、発煙のおそれがあります。

直射日光の当たる場所、火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温となる場所で使用、充電したり、放置しないでください



液漏れ、破裂、発煙、発火や火災、やけどの原因になります。

使用中や充電中、または保管の際に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください



使用をつづけると、バッテリーの液漏れ、破裂、発熱、故障の原因になります。

乳幼児の手が届かない場所で使用、保管してください



感電やけがの原因になります。

電子レンジや高压釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください



破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

指定の充電時間以上連続して充電しないでください



満充電後もそのまま充電し続けたり、すぐに再充電を繰り返すと過充電となり、バッテリーの液漏れ、破裂、発熱の原因になります。

指定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、ただちに充電を中止してください



そのまま充電を続けると破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

シール類を貼ったり、テープを巻きつけたりしないでください



発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

■安全上のご注意(つづき)

バッテリーの端子にハンダ付けをしたり、バッテリーの端子間を針金などの金属類で接続しないでください



感電やけがの原因になります。

金属製のネックレスなど導電性のあるものをバッテリーの上に放置したり、接触させないでください



破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

バッテリーを指定の機器以外に使用したり、指定以外の方法で充電しないでください



液漏れ、破裂、発熱、故障の原因になります。

バッテリー内部の液が目に入ったり、皮膚に付着したりしたときは、こすったり触ったりしないでください



失明、皮膚障害のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠注意

バッテリーがぬれた状態で本体や充電器に装着しないでください



本体や充電器の電源端子部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

長期間使用しないときは必ずバッテリーを本体から取りはずしてください



液漏れ、破裂、発熱、故障の原因になります。

バッテリーを満充電にした状態、あるいは完全に使い切った状態で長期間放置しないでください



液漏れ、破裂、発熱や、サビなどによる性能や寿命の低下の原因になることがあります。

長期間バッテリーを保管する場合は、満充電のあと、バッテリー残量が約半分になるまで使用し、本体から取りはずした状態で保管してください。

■安全上のご注意(つづき)

■充電器の取り扱いについて



警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電のおそれがあります。

電源プラグを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください



故障や感電の原因になることがあります。

充電が終わったら、すぐに電源プラグを抜いてください



そのまま充電を続けるとバッテリーの破裂、発火や火災、発熱、発煙の原因になります。

水のかかるところや湿気、湯気、油気、ほこりの多い場所で充電しないでください



火災や感電のおそれがあります。

使用温度範囲外の環境で充電しないでください



特に寒い戸外や冷えた状態で充電しないでください。液漏れ、破裂、発熱、故障の原因になります。

乳幼児の手が届かない場所で使用してください



感電やけがの原因になります。

充電器を水に入れたり、ぬらしたりしないでください



充電器には防水性能はありません。サビなどによる性能や寿命の低下の原因となります。水にぬれたときは乾いた布等で水気を取り、十分乾燥させてからお使いください。

電源ケーブルを踏みつけたり、重いものを載せたりしないでください



火災や感電のおそれがあります。

電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください



故障や感電の原因になることがあります。

充電器の充電端子部に金属類や指を差し込まないでください



故障や感電の原因になることがあります。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常が発生したときは使用しないでください



火災や感電のおそれがあります。このような場合はすぐに電源プラグを抜き、弊社お客様センターにお問い合わせください。

■ 使用上のご注意

- 本製品を分解したり改造したりすることは法律で禁じられています。絶対に行わないでください。
- お客様や第三者が誤った使用方法で本製品を使用したことによる故障や不具合、あるいはその使用によって生じた損害について、法令上の賠償責任が認められた場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

電波法に関するご注意

- 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の工事設計についての認証（技術基準適合証明）を取得した製品です。
これは簡単な手続きにより本製品をお使いいただくためのものです。本製品を分解や改造して使用すると、電波法違反により罰せられます。
- 免許状に記載されている範囲内で運用してください。
特に他の無線局の通信を妨害したり、通信の秘密の保護を侵したりすることはかたく禁じられています。
- 免許の有効期限は、免許を取得した日から5年間です。
再免許の申請手続きは、免許の失効する6ヵ月前から3ヵ月前の間に行ってください。

運用上のご注意

- 本製品を使用するには、第三級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。DSC機能を使う場合には第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
無資格など資格要件を満たさない人が使用すると、電波法違反で罰せられます。
- 本製品は海上船舶用無線です。陸上など、海上の船舶以外で使用すると、電波法違反で罰せられます。
- 運用中は16チャンネルを聴取するようにしてください。
16チャンネルは、遭難・安全／呼出し専用の共通チャンネルです。一般通話には使用しないでください。
また、指定されたチャンネル以外で通信した場合は、電波法違反で罰せられます。
- チャンネルは必ず日本チャンネル「JPN」でご使用ください。

■ 使用上のご注意 (つづき)

非常時の運用について

救助が必要な際は、下記の手順に従い DISTRESS コール (遭難警報) を送信します。

● DSC (デジタル選択呼び出し) 機能を使用して自動送信する場合

ご注意!

- ・ DSC 機能を使用するには第 2 級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
- ・ DSC 機能を使用するにはあらかじめ自局の MMSI 番号を本機に設定しておく必要があります。設定のしかたは「MMSI 番号を登録する」(⇒ 30 ページ) をご覧ください。
- ・ [DISTRESS] キーを押した際、<ENTER MMSI> と表示された場合は、本機に自局の MMSI 番号が設定されていません。
この場合は [CLEAR] キーを押して送信を中止し、16 チャンネルを使用しての手动送信に切り換えてください。

- ① 保護カバー (赤色) を上げ、[DISTRESS] キーを長押し (約 3 秒) する
本機は他局が送信した受信確認 (Acknowledge) を受信するまで、自動的に遭難警報を 3.5 ~ 4.5 分間隔で繰り返し送信し続けます。
※ 送信される遭難警報には以下の情報が含まれます。
 - ・ 遭難の種類 (Undesignated distress) (その他の遭難)
 - ・ 位置情報
- ② 受信確認 (Acknowledge) を受信すると、自動的に 16 チャンネルに移行するので、PTT (送信) スイッチを押して必要な情報を伝える

● 16 チャンネルを使用して手动送信する場合

- ① 「メーデー (MAYDAY)」あるいは「遭難」(3 回繰り返す)
- ② 「こちらは」
- ③ 「遭難船舶局の呼出名称 (呼出符号)、または他の識別表示」(3 回繰り返す)
- ④ 「遭難した船舶または航空機の名称または識別」
- ⑤ 「遭難した船舶の位置、遭難の種類および状況、ならびに必要な救助の種類、その他救助のために必要な事項」

を伝えます。

■ 使用上のご注意 (つづき)

お手入れについて

本体に海水や砂、泥などが付着したときは真水でよく洗い流してください。
その後乾いた柔らかい布で水分をふき取り、十分乾燥させてください。

防水性能について

本製品は、IPX8 相当の防水性能がありますが (バッテリーおよび付属アンテナ装着時)、完全防水構造ではありません。次のような使いかたをした場合、防水性能を維持できませんのでご注意ください。

- 水深 1.5 m 以上の水中に沈めたとき、または 30 分以上水中に放置したとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- 蛇口から直接水や湯を当てたとき
- 雨水や水滴が付着したまま、あるいはぬれた手でバッテリーやアンテナを付けたり、はずしたりしたとき
- 海水や砂、泥などが本体に付着したまま放置したとき
- 落下等の外的衝撃による樹脂部分の変形、ゆがみ、ひび割れなどが発生した場合
- 薬品等の付着により筐体、ゴムパッキン部が変質したり、劣化が生じたとき
- 薬品等の蒸気が発散する場所、または薬品等に触れる場所に放置したとき
- 本体およびバッテリー端子の錆・腐食等による故障、または損傷があるとき
- 使用温度範囲外で使用したとき
- バッテリーおよびアンテナを無線機本体に取り付けずに使用したとき

■ 使用上のご注意 (つづき)

DSC 機能について

本製品は、ITU クラス D に合致する DSC 機能を搭載しています。緊急時の通信や、グループ送信・個別送信、自船の位置情報送出などの便利な機能がお使いいただけます。

DSC 機能をご使用になる際のご注意

- DSC 機能を使用するには第2級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
- DSC 機能を使用するにはあらかじめ本機に自局の MMSI 番号を登録しておく必要があります。

登録のしかたは「MMSI 番号を登録する」(⇒ 30 ページ) をご覧ください。

ご参考

- ・ 本機は GPS レシーバーを搭載しており、常に最新の位置情報および時刻が登録されていますので、万が一の際、正確な情報を送信することができます。
GPS が受信できない場合は、頻繁（最低4時間おき）に手動にてこれらの情報を入力しなければなりません。
安全な航行のため、GPS が受信できる状態で運用されることを強くおすすめ致します。

ご使用前の準備

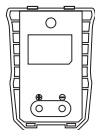
■ 本体と付属品



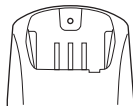
本体



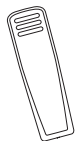
アンテナ



バッテリー



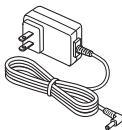
充電器



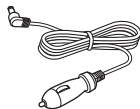
ベルトクリップ



リストストラップ



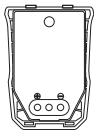
AC アダプター



DC アダプター



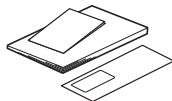
アクセサリ
ケーブル



アルカリ乾電池用
トレイ



取付ねじ (一式)



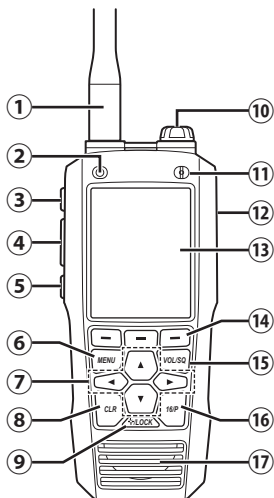
取扱説明書・保証書・
申請書類一式

※ 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、大切に保管してください。

※ この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

■各部のなまえ

■本体（正面）



① アンテナ

取り付け、取りはずしのしかた
(⇒21 ページ)

② LED ライト

③ [⏻] 電源キー

長押しで本機の電源をオン/オフします。

④ PTT (送信) スイッチ

押ししている間は送信状態、離すと受信状態になります。(⇒32 ページ)

長押しで現在の送信出力で送信します。

⑤ [MON] モニターキー

スケルチを短時間開いて、現在のチャンネルを聴取します。

長押しで、スケルチオープンモードになり、現在のチャンネルでの交信をモニターします。

もう一度押すと終了します。

⑥ [MENU] メニューキー

メニュー画面を開きます。

⑦ 方向キー

メニュー 操作時など	画面上でカーソルを上下左右に動かします。 (⇒34、36 ページ)
送・受信時	運用チャンネルを選択します。(⇒32 ページ)

⑧ [CLR] クリアキー

メイン画面に戻ります。

⑨ ☼ / [LOCK] 点灯/ロックキー

1 回押す	LCD とキーのバックライトが点灯します。
2 回押す	LED ライトが常時点灯状態(懐中電灯)になります。
3 回押す	SOS ストロボライト機能がオンになり、LED ライトが点滅します。
4 回押す	LED ライトとバックライトが消灯します。
長押しする	キー入力ロック/ロック解除を行います。

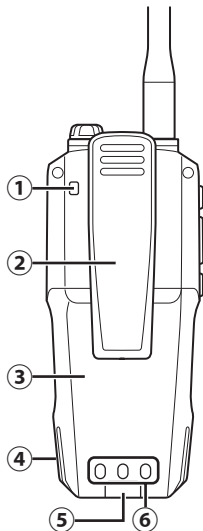
⑩ 外部スピーカー/マイク出力

⑪ マイク

■各部のなまえ (つづき)

- ⑫ **[DISTRESS] DISTRESS キー**
非常時、DISTRESS コール (遭難警報) の送用に使います。
押すと遭難画面がアクティブになります。長押しすると、遭難警報が送信されます。
※ 保護カバー (赤色) を上げて押しします。
- ⑬ **液晶ディスプレイ**
表示内容についての詳細は 15 ページをご覧ください。
- ⑭ **ソフトウェアキー**
画面に表示される項目を切り換え、選択・決定します。
- ⑮ **[VOL/SQ] 音量/スケルチキー**
- | | |
|-------|--------------|
| 1 回押す | 音量を調整できます。 |
| 2 回押す | スケルチを調整できます。 |
- ※ 調整は [▲] [▼] キーで行います。
- ⑯ **[16/P] 16/P チャンネルキー**
押すたびに 16 チャンネル、優先チャンネル、運用のチャンネルと順次切り換えて選局します。
- ⑰ **スピーカー**

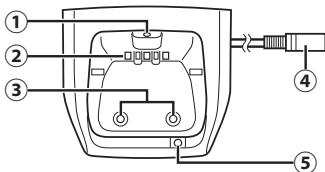
■本体 (背面)



- ① ストラップ取り付け穴
② ベルトクリップ
③ バッテリー
④ 水濡れセンサー (両側面)
⑤ リリースレバー
⑥ バッテリー充電端子

各部のなまえ (つづき)

■ 充電器



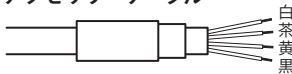
- ① 固定用ネジ穴
- ② 充電端子
- ③ 固定用ネジ穴
- ④ NMEA0183 出力コネクター
- ⑤ 充電ランプ

充電状態を表示します。

赤色点灯	充電中
緑色点灯	充電完了

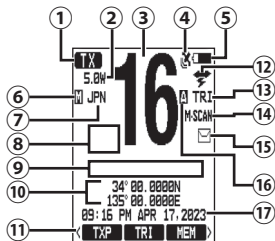
※ 無線機の電源が入っている場合、無線機の動作に必要な電流が流れるため、充電完了の緑色点灯にならない場合があります。

■ アクセサリーケーブル



線色	説明	接続先
白	NMEA 出力 (+)	海図プロッターの NMEA Data IN (+)
茶	NMEA 出力 (-)	海図プロッターの NMEA Data IN (-)
黄	NC (接続しない)	—
黒	NC (接続しない)	—

■ 液晶ディスプレイ



① ステータス

状況に応じて各種ステータスメッセージが表示されます。

表示メッセージ	内容
TX	送信中
BUSY	受信中 またはビジー

② 送信出力

選択している送信出力 (1W/2.5W/5W) のいずれかを表示します。

③ チャンネル番号

現在選択している運用チャンネル番号を表示します。

④ GPS ステータス

状況に応じて各種アイコンが表示されます。(点滅…取得中、点灯…取得済み)

表示メッセージ	内容
	内蔵 GPS 有効
(非表示)	内蔵 GPS 無効

各部のなまえ (つづき)

⑤ バッテリー残量

バッテリー残量を5段階でアイコン表示します。



☞ 「空」状態からさらに残量が減ると、「空」アイコンが点滅します。この状態でPTT(送信)スイッチを押してもアラーム音が鳴り、送信はできません。

⑥ メモリーチャンネル

メモリー(スキャン対象)チャンネルを選択しているときに点灯します。

⑦ チャンネルモード

選択しているチャンネルモードが表示されます。

日本チャンネル	JPN
国際チャンネル	INT
米国チャンネル	USA

⑧ 4桁のチャンネル表示エリア

※ 日本チャンネル(JPN)モードでは使用しません。

⑨ チャンネル名

運用中のチャンネル名を表示します。

※ 日本チャンネル(JPN)では「RADIO SETUP」メニューの「CHANNEL NAME」でチャンネル名の設定が必要です。(⇒45ページ)

⑩ 緯度(上段)・経度(下段)

⑪ ソフトウェアキーラベル

⑫ ウェザーアラート

ウェザーアラート(気象警報)の動作中に表示されます。

ご注意!

・ ウェザーチャンネルおよびウェザーアラートは、米国およびカナダにおいて放送あるいは送信されています。日本の国内、海域および近海では受信できません。

⑬ ウォッチモード

ウォッチモード(⇒47ページ)を設定しているときに表示されます。

表示メッセージ	内容
TRI	トリプルウォッチ
DUAL	デュアルウォッチ

⑭ スキャンモード

スキャンモード(⇒51ページ)を設定しているときに表示されます。

表示メッセージ	内容
M・SCAN	メモリースキャン(MEMSCN)
A・SCAN	オールスキャン(ALLSCN)

⑮ DSC コールログ

DSC コールログが利用可能のとき表示されます。


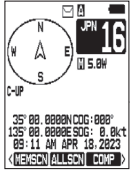
⑯ オートポーリング

オートポーリング(⇒71ページ)がオンのときに表示されます。

⑰ 時刻・日にち

■ 各部のなまえ (つづき)

※ 前ページの画面は通常時の表示例です。以下はおもに表示される画面の一例です。

<p>メニュー画面</p>		<p>[▲] [▼] [▶] [◀] キー、画面上に表示されるソフトウェアキーなどを使用して、本機の設定や機能にアクセスします。</p>
<p>キーボード画面</p>		<p>設定時にテキスト入力が必要な場合に表示されます。 [▲][▼][▶][◀]キー、ソフトウェアキーを使ってテキストを入力します。</p>
<p>コンパス画面</p>		<p>COMP を押すと、コンパス画面が表示されます。 ※ 設定によっては表示が異なる場合があります。</p>

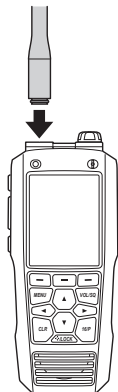
■ 準備する

アンテナを取り付ける

アンテナの根元を持ち、本体上部のアンテナ取付ねじに穴を合わせ、手で締まる程度まで時計まわりに回して取り付けます。はずすときは、アンテナの根元を持ち、反時計まわりに回してください。

ご注意!

- 運用の際は必ずアンテナを接続してください。
接続しないで使用すると、故障の原因となります。



バッテリーを取り付ける

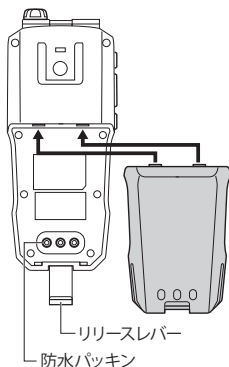
1 バッテリー上部のツメを、本体のバッテリー取り付け部の上部にあるくぼみに差し込みます。

2 バッテリー下部を押し当てた状態で、リリースレバーをカチッとはめてロックします。

取りはずすときは、リリースレバーをはずしてから、バッテリーを抜いてください。

お知らせ

- バッテリー取付部には、図のように防水パッキンが付いています。製品本来の防水性能を発揮・維持するため、バッテリーの取り付け、取りはずしの際は、その都度以下の事項を点検するようにしてください。
 - 防水パッキンが所定の位置からずれていないか
 - 破損していないか
 - 砂やゴミなどが付着していないか
 - ぬれていないか



■ 準備する (つづき)

アルカリ乾電池用トレイを使う

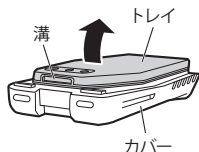
本機は付属のバッテリーの他、単4形アルカリ乾電池 4 本 (別売) でも使用できます。

ご注意!

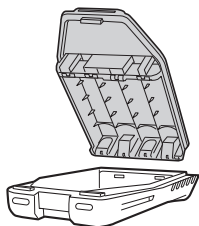
・アルカリ乾電池を使用する場合は、送信出力が最大 2.5W に制限されます。

■ アルカリ乾電池を入れる

1 トレイ下部にある溝にコイン等を差し込み、カバーをはずします。

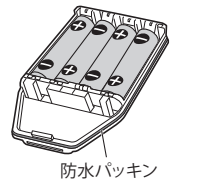


2 単4形アルカリ乾電池 4 本 (別売) を、極性 (+・-) に注意しながらトレイに挿入します。



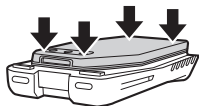
4 トレイとカバーの形状を合わせて、カバーをしっかりと閉じます。

側面から見て橙色の防水パッキングが見えなくなるまでしっかりとめ込んでください。



5 本体に取り付けます。

バッテリーの取り付けかたと同様の方法で本体に取り付けます。(⇒ 21 ページ)



■ 準備する (つづき)

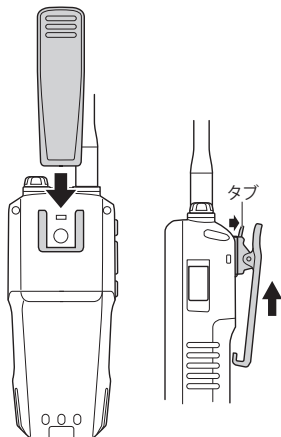
ベルトクリップを取り付ける

■ 取り付け

- 1 本体背面のベルトクリップ取付部に、ベルトクリップ背面のみぞを合わせます。
- 2 ベルトクリップがカチッと固定されるまで下にスライドさせます。

■ 取りはずし

- 1 ベルトクリップ内側のタブ部分をおさえながら、ベルトクリップを上へスライドさせてはずします。



ストラップを取り付ける

必要に応じて付属品のストラップを取り付けてください。

運用時や持ち運ぶ際、手首にストラップを通しておくと、落としたりせず安心です。

ご注意!

- ・ 持ち運びの際は、アンテナ部分を持って持ち運ばないでください。
- ・ アンテナやストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。けがをしたり、製品の故障や破損の原因になります。

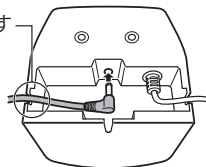
■ 準備する (つづき)

充電器に電源を接続する

AC アダプターまたは DC アダプターの電源ケーブルを充電器底面のスロットに通し、コネクターを充電器に差し込みます。

※ スロットは左側・右側・背面に各1ヶ所ずつあります。設置状況に応じたスロットにケーブルを通してください。

スロットに通す



充電器 (底部)

■ 充電器を固定する場合

充電器を付属の取付ねじで所定の位置に固定する場合は、あらかじめ充電器に AC アダプターまたは DC アダプターを接続してください。

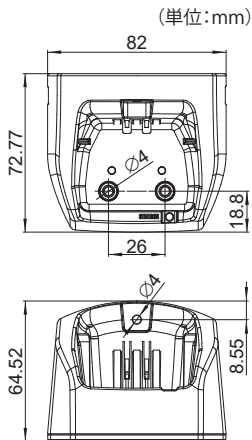
1 充電器の固定用ネジ穴 (底面 2ヶ所または背面 1ヶ所) を目印にして、取付位置に印をつけます。

2 印をつけた位置に、3 mm のドリルビットで深さ 13 mm の穴を開けます。

3 充電器に AC アダプターまたは DC アダプターを接続します。

接続のしかたは上記を参照してください。

4 付属の取付ネジで充電器を取付面に固定します。



ご注意!

・ 磁気干渉を防ぐため、充電器はコンパスから 1m 以上離して取り付けてください。

■ 準備する (つづき)

バッテリーを充電する

本製品は、付属品の AC アダプターまたは DC アダプターを使って充電します。充電は、本体にバッテリーを取り付けたまま充電器に載せて充電するか、バッテリー単体（本体から取りはずした状態）を充電器に載せて充電することができます。

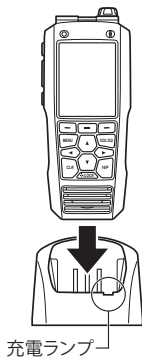
■ 本体にバッテリーを取り付けたまま充電する

1 本体を充電器に載せます。

充電器の充電ランプが赤色に点灯していることを確認してください。

2 充電ランプが緑色点灯に変わったら充電完了です。

☞ 無線機の電源が入った状態で充電した場合、無線機の動作に必要な電流が流れるため、満充電になっても緑色点灯にならない場合があります。



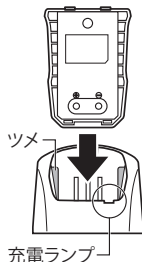
■ バッテリー単体で充電する

1 バッテリーのリリースレバーをはずし、本体からバッテリーをはずします。

2 バッテリーを充電器に載せます。

バッテリーの下部左右にある溝を、充電器のツメに通して載せます。充電器の充電ランプが赤色に点灯していることを確認してください。

3 充電ランプが緑色点灯に変わったら充電完了です。



■ 準備する (つづき)

ご注意!

- ・ 充電ランプが点滅している、または充電ランプが点灯しないときは一旦プラグを抜き、充電器と本体、接続プラグを再度差し込み直し、接続を確認してください。その後電源プラグに再度差し込んでください。
- ・ バッテリーや充電器は必ず製品に付属のものをお使いになり、指定以外のものは絶対に使用しないでください。
- ・ 本体やバッテリー本体が汚れたり濡れたりしていたら、充電器に載せる前に汚れや水分を拭き取ってください。


お知らせ

- ・ バッテリーは継ぎ足し充電ができますので常に満充電の状態でご使用ください。
- ・ 本製品の充電は 0℃～+ 45℃の範囲で行ってください。
- ・ 満充電のめやす時間：約 5 時間（本体電源オフ時、使用状況により異なります）

● バッテリー残量表示について

バッテリー残量は5段階でアイコン表示されます。



- 👉 「空」状態からさらに残量が減ると、「」アイコンが点滅します。この状態では送信をすることはできません。

- ・ バッテリー残量が完全になくなった状態では、充電器に接続した状態でも受信・送信機能はお使いいただけません。この場合は本体の電源をオフにし、バッテリーに蓄電されるまでしばらくお待ちください。

基本操作のしかた

■ ご使用になる前に

チャンネルについて

16 チャンネル

遭難緊急安全通信チャンネルです。他局との初期通信の確立に使用したり、緊急連絡用として使用します。そのため、待受け中も必ずモニターする必要があります。

また、このチャンネルはデュアル・トリプルウォッチの対象チャンネルとなっており、各ウォッチモードの動作時にはこのチャンネルが必ずモニターされます。

優先チャンネル (PRIORITY CHANNEL)

本製品では 16 チャンネルとは別に、頻繁に使用するチャンネルを簡単に呼び出せる機能があります。初期設定では、優先チャンネル (PRIORITY CHANNEL) として 9 チャンネルが設定されています。(➡ 44 ページ)

- ・ [16/P] キーを短く押すごとに 16 チャンネル、優先チャンネル (PRIORITY CHANNEL)、受信していた元のチャンネルの順に切り換わります。

日本チャンネル

本機で使用できる日本チャンネル数は 57 チャンネルです。

- ・ 日本チャンネルグループ選択時、「JPN」が点灯します。
- ・ [▲] [▼] キーを押してチャンネルを選択します。

ご注意!

- ・ 本製品は RADIO SETUP メニューの設定で日本「JPN」・国際チャンネル「INT」および米国「USA」に切り換えることができますが、日本の国内、海域および近海で国際・米国の両チャンネルを使用することはできません。必ず「JPN」が点灯した状態で使用してください。

ウェザーチャンネル

米国およびカナダにおいて放送・運用されている、NOAA のウェザーチャンネルを受信するために使用するチャンネルです。

ご注意!

- ・ ウェザーチャンネルは、米国およびカナダにおいて放送あるいは送信されています。日本の国内、海域および近海では受信できません。

ご使用になる前に (つづき)

電源を入れる／切る

[**⏻**] (電源) キーを長く押す(約 2 秒) と、電源がオンになります。
電源をオフにするときは、画面表示が消えるまで [**⏻**] キーを押し続けます。

音量の調節

[**VOL/SQ**] (音量／スケルチ) キーを 1 回押すと、音量調節モードになります。
ディスプレイのチャンネル番号下に、ボリュームレベルが表示されます。
[**▲**] [**▼**] キーを押して適切な音量に調整します。
調整を終了するには [**CLR**] キーを押します。

スケルチレベルの調整

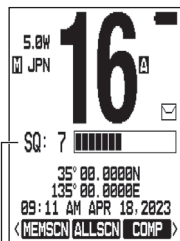
無信号時のノイズを低減したり、スキャンを効率よく行うため、適切なレベルに調整してください。

1 チャンネルを聴きながら、[**VOL/SQ**] キーを 2 回押します。

ディスプレイのチャンネル番号下に、スケルチレベルが表示されます。

2 [**▲**] [**▼**] キーを押して適切なレベルに調整します。

[**▲**] キーを押すと、スケルチは開きにくくなります。
[**▼**] キーを押すと、スケルチが開きやすくなり、弱い信号でも受信しやすくなります。



スケルチレベル

☞ スケルチレベルを高く設定しすぎると、送信音が弱くなることがあります。
送信音が聞こえにくい場合は、スケルチレベルを低く設定してみてください。

3 設定を確定するには、[**CLR**] キーまたは [**VOL/SQ**] キーを押します。

ご使用になる前に (つづき)

操作インターフェースについて

本機は、本体正面にあるキーを押して行う操作のほかに、画面下部に表示されるソフトウェアキーを左右にスクロール表示させ、表示に連動したキーで操作する、ソフトウェアキーによる操作 (⇒ 36 ページ) があります。

文中での表記について

なお、各インターフェースによる操作について、本書では以下のように表記しています。

操作キー	例：[MENU] キー
ソフトウェアキー	例： SELECT

文字入力について

文字を入力する必要がある場合は、必要に応じてソフトウェアキーボードがポップアップ表示されます。

■ 文字入力のしかた

1 [▲] [▼] [◀] [▶] の各キーを使ってキーボード上でカーソルを動かし、**SELECT** を押して選んだ文字を決定する

2 全ての文字を入力後、文字を確定するには **FINISH** を押す



※ キーボードのレイアウトは選択している項目により若干異なる場合があります。

■ ご使用になる前に (つづき)

MMSI 番号について

初めて電源を入れると、MMSI 未入力メッセージ画面が表示されます (下記手順 **1** 参照)。

DSC 機能を使用するには、自局の MMSI 番号 (免許状に記載された 9 桁の自局 ID 番号) を本機に登録しておく必要があります。

※ MMSI 番号を入力しない場合でも本機を使用することはできますが、一部の機能および DSC 機能を使用することはできません。

■ MMSI 番号を登録する

ご注意!

- ・ 自局 MMSI 番号の登録は 1 回のみです。登録の際は間違えないようくれぐれもご注意ください。変更する必要がある場合は、お客様センターにお電話いただくか、または当社ホームページよりお問い合わせください。(☞裏表紙をご覧ください)

1 本機の電源がオンになるまで、[] キーを押し続ける (約 2 秒)

画面にメッセージが表示されます。



2 PROG を押す

MMSI 入力画面が表示されます。



3 [▲] [▼] キーで数字を選び、SELECT を押して決定する

MMSI 番号の 9 桁の数字を入力します。

数字を間違えたときは、[◀] [▶] キーでカーソルを移動し、再度入力してください。

■ ご使用になる前に (つづき)

- 4** 9桁の数字を入力後、番号を確認し、**FINISH**を押す
確認画面が表示されます。

- 5** 確認のため、再度 MMSI 番号を入力し、**SELECT**、**SAVE**の順に押す
メッセージ画面が表示されます。

- 6** **SAVE**を押す



キーロック

キー操作を無効にし、運用中のキーの誤操作を防ぎます。

キーロックを「オン」にすると、PTT(送信) スイッチ、**[POWER]**、**[DISTRESS]** キーを除く、全てのキー操作が無効になります。

※ なお **[DISTRESS]** キーを押した場合、キーロックは解除されます。

[☀/LOCK] キーを長く押す(約2秒)たびに、オン/オフが切り換わります。
キーロックが「オン」のときは、上記以外のキーを操作すると、ディスプレイ部に「KEY LOCK」と表示されます。

ご使用になる前に (つづき)

受信と送信のしかた

- 1 本機の電源がオンになるまで、[ON] キーを押し続ける (約 2 秒)
- 2 [VOL/SQ] (音量/スケルチ) キーを 1 回押し、[▲] [▼] キーで音量を調節する
- 3 [VOL/SQ] (音量/スケルチ) キーをもう一度押し、[▲] [▼] キーでノイズが消えるレベルにスケルチを調整し、[CLR] または [VOL/SQ] キーを押す

4 運用するチャンネルを選ぶ

[▲] [▼] キーを押して運用するチャンネルを選択します。


 短く押すと 1チャンネルごと、押し続けるとチャンネルを早送りできます。

信号を受信すると、スピーカーから音声が聞こえます。
(必要に応じ、再度音量を調節してください。)

5 TXP (ソフトウェアキー) を押して送信出力を選ぶ

通信距離に応じて適切な送信出力を選びます。

1W	近距離通信の場合
2.5W	中距離通信の場合
5W	長距離通信の場合

 チャンネルによっては 1W しか使えないチャンネルもあります。
チャンネルリスト (➡ 97 ページ) も併せてご参照ください。

6 PTT (送信) スイッチを押しながら、マイクに向かって話す

送信中は、ディスプレイ部に「TX」と表示されます。

7 話し終わったら、PTT (送信) スイッチを離す

受信状態に戻ります。

■ ご使用になる前に (つづき)

● タイムアウトタイマー機能

本製品は 5 分間連続して送信状態が続いた場合、強制的に送信を停止します。

● マイクに向かって話すときは…

マイクと口元は 5cm ほど離し、普通の大きさの声でお話してください。

マイクに近づけすぎたり大きな声で話すと、音が割れるなど、かえって不明瞭となります。

ご使用になる前に (つづき)

メニューについて

メニュー画面から、本機の設定やさまざまな機能にアクセスできます。

■ 操作のしかた

1 **[MENU]** キーを押し、メインメニューを開く

2 **[▲]** **[▼]** キーを押し、メニュー項目を選び、**SELECT** を押し、メニューを開く



BACK を押し、ひとつ前の画面に戻ります。

3 メニューを終了するには **EXIT**、または **[CLR]** キーを押す

メインメニュー	説明
DISTRESS MESSAGE	無線機の [DISTRESS] キーが押されたときに発信される遭難メッセージのタイプを選択します。(⇒ 75 ページ)
GENERAL SETUP	バックライトやキータッチ音など、本機に関する一般的な設定が行えます。(⇒ 89 ページ)
RADIO SETUP	本機の優先度やウェザーアラートなどの設定が行えます。(⇒ 90 ページ)
GPS	GPS に関する設定の他、省電力オプション、測定間隔、および時刻の設定が行えます。(⇒ 78 ページ)

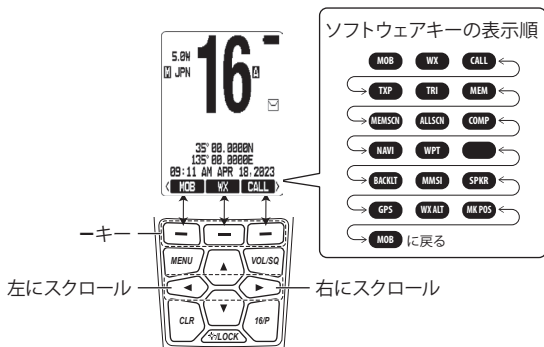
■ ご使用になる前に (つづき)

メインメニュー	説明
WAYPOINT SETUP	ウェイポイント(ランドマーク)は、2つの位置の間の特定の点をマークしています。これらのポイントは、方向指示手段として機能します。(⇒ 91 ページ)
DSC SETUP	船舶間通信やグループ通信のための連絡先の設定など、DSC (デジタル選択呼び出し) 機能の設定が行えます。(⇒ 54、92 ページ)
SET SCAN CH	特定のチャンネルに関してスキャンのオン/オフを切り換えます。(⇒ 51 ページ)
ABOUT	機種番号、ソフトウェアとハードウェアのバージョン、シリアル番号、MMSI 番号が表示されます。(⇒ 93 ページ)
RESET	本機を工場出荷時の設定にリセットします (MMSI 番号を除く)。(⇒ 96 ページ)

ご使用になる前に (つづき)

ソフトウェアキーについて

[◀] [▶] キーで画面下部の表示項目を切り換え、該当する項目の下にある [—] キーを押して項目を確定します。



ソフトウェアキー	説明
MOB	<p>(Man Over Board)</p> <p>GPS が自動的に現在地を MOB (落水地点) として保存し、ウェイポイントディレクトリに MARK XXX として保存されている緯度、経度、時刻、BRG (Bearing to Destination: 目的地点の方位)、および DIST (Distance to Destination: 目的地点までの距離) を表示します。</p> <p>保存された位置情報は、ウェイポイントとして使用できます。(ウェイポイントディレクトリには「MOB XXX」と表示されます。名前は変更することができます。)</p>
WX	<p>直近にアクセスしたウェザーチャンネル、緯度、経度、時刻を表示します。</p> <p>[▲] [▼] キーを押してウェザーチャンネルをスクロールします。通常の送受信画面に戻るには、CHを押します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!</p> <ul style="list-style-type: none"> ウェザーチャンネルおよびウェザーアラートは、米国およびカナダにおいて放送あるいは送信されています。日本の国内、海域および近海では受信できません。 </div>

■ ご使用になる前に (つづき)

ソフトウェアキー	説明
CALL	<p>DSC 機能を利用したさまざまな呼び出しをするための「CALL」メニューを表示します。</p> <p>さまざまな種類のコール、DSC ログへのアクセス、オートポーリングの設定等を行うことができます。</p> <div data-bbox="267 329 967 500" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>ご注意!</p><ul style="list-style-type: none">一部のコールタイプでは、以前にメニューで設定した情報を使用してコールパラメータを設定しています。たとえば、CALL ソフトキーで「INDIVIDUAL CALL」を選択すると、「DSC SETUP」メニューの「INDIVIDUAL DIRECTORY」で設定した船舶のリストが表示されます。</div> <p>他の船舶の位置を手動入力することもできます。</p>
TXP	<p>送信出力を 5W/2.5W/1W に変更します。</p> <p>送信出力レベルはディスプレイに表示されます。</p> <p>(チャンネルの最大出力が 1W のみの場合は、出力は 1W のままです。)</p>
TRI DUAL	<p>設定 (⇒ 44 ページ) に応じて「TRI」または「DUAL」が表示されます。</p> <p>「TRI」が表示されている場合は、現在のチャンネル、チャンネル 16、および優先チャンネルをスキャンします。</p> <p>「DUAL」が表示されている場合は、現在のチャンネルとチャンネル 16 をスキャンします。</p> <p>デュアルウォッチは、現在のチャンネルと CH16 をモニターします。</p> <p>トリプルウォッチは、現在のチャンネル、CH16、および優先チャンネルをモニターします。</p> <div data-bbox="267 1020 967 1119" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>ご注意!</p><ul style="list-style-type: none">ソフトキーは、現在設定されているモードのオン/オフを切り換えるだけで、TRI モードと DUAL モードを切り換えることはできません。</div>
MEM	<p>現在のチャンネルをメモリーチャンネルに保存します。</p> <p>(⇒ 50 ページ)</p> <p>ディスプレイに「M」アイコンが表示されます。</p> <p>すでにメモリーに保存されているチャンネルの場合は、このキーを選ぶとメモリーからチャンネルが削除されます。</p>

■ ご使用になる前に (つづき)

ソフトウェアキー	説明
MEMSCN	メモリーに保存されているチャンネルをスキャンします。 ディスプレイに「M-SCAN」が表示されます。
ALLSCN	使用可能なすべてのチャンネルをスキャンします。 ディスプレイに「A-SCAN」が表示されます。
COMP	コンパス (Compass) 画面を開きます。 「GPS」メニューの「DIRECTION」で、COURSE UP (画面の上方がコース方向) または NORTH UP (画面の上方がコンパスの北方向) を選択します。
NAVI	すでに目的地点として保存されているルート、またはウェイポイントにアクセスします。(⇒ 84 ページ)
WPT	ウェイポイント (Waypoint) とは、システムに保存した位置の座標を示します。ナビゲーション先としてウェイポイント (すでに本機に保存されている位置の座標) を選択します。(⇒ 84 ページ) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>ご注意!</p><ul style="list-style-type: none">最大 250 個のディレクトリを保存できます。この制限を超えると、MEMORY FULL が表示されます。</div>
BACKLT	液晶ディスプレイ部のバックライトの色を、WHITE (白色) または AMBER (アンバー色) に変更できます。
MMSI	自局の MMSI 番号を表示します。
SPKR	音による振動で、スピーカーに付着した水分を弾き飛ばすことができます。
GPS	GPS SAT SIGNAL 画面には、衛星の位置、番号、および信号強度が表示されます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>ご注意!</p><ul style="list-style-type: none">有効な信号データを持つ衛星は、黒いバーと黒いドットとして表示されます。無効な信号データを持つ衛星は、白いバーと白いドットで表示されます。</div>

■ ご使用になる前に (つづき)

ソフトウェアキー	説明
ALT	ウェザーアラートを有効にします。
MK POS	自船の現在位置を、ウェイポイントとしてウェイポイントディレクトリに保存します。(⇒ 80 ページ) 保存された位置情報は、ウェイポイントとして使用できます。(⇒ 84 ページ) (ウェイポイントディレクトリには「MARK XXX」と表示されます。名前は変更することができます。)

ソフトキーの割り当てを変更してよく使う機能をグループ化することができます。
(⇒ 42 ページ)

■ 設定する

本機の基本的な設定について説明します。設定は必要に応じていつでも変更できます。

バックライト (BACKLIGHT)

- 1 **[MENU]** キーを押し、「GENERAL SETUP」メニューから「BACKLIGHT」を開く

「BACKLIGHT」メニューが表示されます。

- 2 **[▲]** **[▼]** キーで項目を選び、設定する

BACKLIGHT LEVEL	明るさ (1～8、オフ) を調整します。
BACKLIGHT COLOR	液晶ディスプレイ部のバックライトの色を WHITE (白色) または AMBER (アンバー色) に変更できます。
BACKLIGHT TIMEOUT	バックライトの点灯時間を設定します。 (5 秒 / 10 秒 / 30 秒 / 1 分 / 5 分 / 常時オン)

- 3 設定が完了したら、**[SELECT]** を押す

「BACKLIGHT」メニューに戻ります。

液晶コントラスト (CONTRAST/RVS)

- 1 **[MENU]** キーを押し、「GENERAL SETUP」メニューから「CONTRAST/RVS」を開く

- 2 **[▲]** **[▼]** キーでコントラスト (LEVEL 1～15、初期値：LEVEL 6) を設定する

- 3 画面の白黒表示を反転するには、**[RVS]** を押す

- 4 設定が完了したら、**[SELECT]** を押す

「GENERAL SETUP」メニューに戻ります。

■ 設定する (つづき)

キータッチ音 (KEY BEEP)

- 1 **[MENU]** キーを押し、「GENERAL SETUP」メニューから「KEY BEEP」を開く
- 2 **[▲]** **[▼]** キーで音量 (LEVEL 1～7、オフ) を選び、**SELECT** を押す
「GENERAL SETUP」メニューに戻ります。

SOS ストロボ (SOS STROBE)

設定すると、本体が落水した際に高輝度 LED が点滅します。

- 1 **[MENU]** キーを押し、「GENERAL SETUP」メニューから「SOS STROBE」を開く
- 2 **[▲]** **[▼]** キーで項目を選び、設定する

WATER ACTIVATED	水濡れセンサーのオン/オフを切り換えます。
STROBE TIMEOUT	ストロボがオンになってからオフになるまでの時間 (10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 1 分) を設定します。

無操作タイムアウト時間 (INACTIVITY TIMER)

無操作時、メニューがタイムアウトし待ち受け画面に戻るまでの時間を設定します。

- 1 **[MENU]** キーを押し、「GENERAL SETUP」メニューから「INACTIVITY TIMER」を開く
- 2 **[▲]** **[▼]** キーで時間 (1/2/3/5/8/10 分) を選択し、**SELECT** を押す
「GENERAL SETUP」メニューに戻ります。

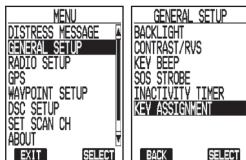
■ 設定する (つづき)

キー割り当ての設定 (KEY ASSIGNMENT)

ソフトウェアキーの割り当てを変更して、よく使う機能をグループ化できます。

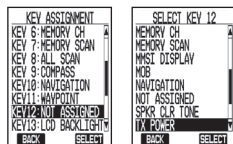
- 1** [MENU] キーを押し、「GENERAL SETUP」メニューから「KEY ASSIGNMENT」を開く

キー番号とデフォルトのキー割り当てが表示されます。



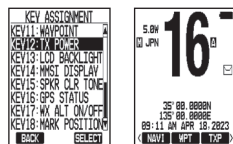
- 2** 再割り当てしたいキーを選び、**SELECT** を押す

現在そのキーに割り当てられている機能がハイライト表示されます。



- 3** 新たに割り当てたい機能を選び、**SELECT** を押す

新しい割り当ての KEY ASSIGNMENT 画面が再表示されます。



- 4** 手順 2 と 3 を繰り返して、他のソフトキーへの割り当てを行う

- 5** 割り当てが完了したら、**BACK** または [CLR] キーを押す

■ 設定する (つづき)

チャンネルモード (CHANNEL MODE)

- 1 **[MENU]** キーを押し、「RADIO SETUP」メニューから「CHANNEL MODE」を開く
- 2 **[▲]** **[▼]** キーでモード (JAPAN/INTERNATIONAL/USA) を選び、**SELECT** を押す
「RADIO SETUP」メニューに戻ります。

ウェザーチャンネルの設定 (WEATHER RADIO)

- 1 **[MENU]** キーを押し、「RADIO SETUP」メニューから「WEATHER RADIO」を開く
- 2 **[▲]** **[▼]** キーで項目を選び、設定する

WX ALERT	アラートのオン/オフを切り換えます。
S.A.M.E. FIPS CODE	FIPS コードの登録・編集・削除を行います。

- 3 **SELECT** を押す
「RADIO SETUP」メニューに戻ります。

ご注意!

- ウェザーチャンネルおよびウェザーアラートは、米国およびカナダにおいて放送あるいは送信されています。日本の国内、海域および近海では受信できません。

デュアル/トリプルウォッチの設定 (DUAL/TRI WATCH)

- 1 **[MENU]** キーを押し、「RADIO SETUP」メニューから「DUAL/TRI WATCH」を開く
- 2 **[▲]** **[▼]** キーで「DUAL」または「TRIPLE」を選び、**SELECT** を押す
「RADIO SETUP」メニューに戻ります。

ご注意!

- デュアルウォッチまたはトリプルウォッチ機能のオン/オフは、ソフトウェアキーで行います。(⇒ 47 ページ)

■ 設定する (つづき)

優先チャンネル (PRIORITY CHANNEL)

- 1 **[MENU]** キーを押し、「RADIO SETUP」メニューから「PRIORITY CHANNEL」を開く

チャンネルリストが表示されます。

- 2 **[▲]** **[▼]** キーでチャンネルを選び、**SELECT** を押す

チャンネルが優先チャンネルとなり、「RADIO SETUP」メニューが表示されます。

■ チャンネル名を登録する

下記「チャンネル名の設定」と同様の手順でチャンネル名を登録できます。

スキャン一時停止時間の設定 (SCAN PAUSE TIMER)

スキャン中に信号を受信するとスキャンを一時停止し、そのチャンネルを受信し続けます。受信中のチャンネルで信号が受信できなくなると再度スキャン動作を再開します。信号を受信できなくなってからスキャン再開までの時間を設定します。

- 1 **[MENU]** キーを押し、「RADIO SETUP」メニューから「SCAN PAUSE TIMER」を開く

- 2 **[▲]** **[▼]** キーでスキャンを休止 (一時停止) する時間を設定する

- 3 **BACK** を押す

「RADIO SETUP」メニューに戻ります。

■ 設定する (つづき)

チャンネル名の設定 (CHANNEL NAME)

- 1 **[MENU]** キーを押し、「RADIO SETUP」メニューから「CHANNEL NAME」を開く
- 2 **[▲]** **[▼]** キーでチャンネルを選び、**RENAME** を押す
テキスト編集画面が表示されます。
※ 文字入力のしかた (⇒ 29 ページ)
※ **RESET** を押すとプリセットされたチャンネル名に戻すことができます。
- 3 **[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** の各キーで新しいチャンネル名を入力する
各文字の入力後に **SELECT** を押し、終了したら **SAVE** を押す

ノイズキャンセル (NOISE CANCEL)

- 1 **[MENU]** キーを押し、「RADIO SETUP」メニューから「NOISE CANCEL」を開く
- 2 **[▲]** **[▼]** キーで「RX」または「TX」を選び、**SELECT** を押してオンまたはオフに設定する
- 3 **BACK** を押す
「RADIO SETUP」メニューに戻ります。

受話音質調整 (RECEIVE AUDIO PITCH)

- 1 **[MENU]** キーを押し、「RADIO SETUP」メニューから「RECEIVE AUDIO PITCH」を開く
- 2 **[▲]** **[▼]** キーで NORMAL (標準)、MIDRANGE (中域強調)、HIGHBOOST (高域強調)、LOW BOOST (低域強調) を選択する
- 3 **BACK** を押す
「RADIO SETUP」メニューに戻ります。

■ 設定する (つづき)

ローカルタイム (LOCAL TIME)

1 [MENU] キーを押し、「GPS」メニューから「TIME DISPLAY」を開く
LOCAL TIME と UTC (24H) が表示されます (UTC= 協定世界時)。

2 [▲] [▼] キーと **SELECT** で以下の設定を行う

LOCAL TIME	LOCAL TIME FORMAT - 時刻の表示形式を、12 HOUR (12 時間表示) または 24 HOUR (24 時間表示) に切り換えます。 LOCAL TIME ADJUST - 地域標準時からプラスマイナス1時間の時刻のシフトができます。 ※ 日本国内では0に設定してください。 DAYLIGHT SAVING - 夏時間 (サマータイム) を設定します。「ON」にすると1時間進んで表示されます。 ※ 日本国内では「OFF」に設定してください。
UTC (24H)	時計を協定世界時 (UTC) 表示に切り換えます。

3 **BACK** を押す

「GPS」メニューに戻ります。

■ 操作モード・ウォッチモードについて

■ 操作モード

本製品には、ノーマル・スキャンの2つの操作モードがあります。

操作モード	機能	モードの切り換え
ノーマル	1つのチャンネルをモニターしながら同一チャンネルで受信・送信を行います。	本製品の初期モードです
スキャン	メモリスキャン メモリーチャンネル (⇒ 50 ページ) に設定した全てのチャンネルをモニターします。	MEMSCN ソフトウェアキーを押す
	オールスキャン 全ての受信チャンネルをモニターします。	ALLSCN ソフトウェアキーを押す

■ ウォッチモード

上記の操作モードに加え、以下の2つのウォッチモードがあります。

各操作モードとウォッチモードをそれぞれ組み合わせて運用することができます。

ウォッチモードは、選択しているチャンネルを受信しながら、指定のチャンネル (16 チャンネル/優先チャンネル) を一定間隔でモニターし、信号を受信した場合は、そのチャンネルに切り換えます。

ウォッチモード	機能	モードの切り換え
デュアル*	16 チャンネルを 1.5 秒おきにモニターします。	DUAL ソフトウェアキーを押す
トリプル	16 チャンネルおよび優先チャンネル (PRIMARY CHANNEL) を 1.5 秒おきにモニターします。	TRI ソフトウェアキーを押す

* 初期設定は「トリプルウォッチ」です。「デュアルウォッチ」モードでお使いになりたい場合は、「RADIO SETUP」メニューで設定を変更してください (⇒ 43 ページ)。

■ 操作モード・ウォッチモードについて (つづき)

スキャンモードについて

スキャンとは、メモリーチャンネルを自動で切り換えながら信号のあるチャンネルをサーチし、検出する機能です。

お知らせ

- ・ スキャン操作をするには、あらかじめメモリー（スキャン対象）チャンネルを設定しておく必要があります（⇒ 50 ページ）。

本製品は、スキャンモード単体で、あるいは各ウォッチモードと組み合わせて運用できません。

● スキャンモード（⇒ 51 ページ）

全てのメモリーチャンネル、または全てのチャンネルをスキャンします。

● スキャンモード + デュアルウォッチ（⇒ 51 ページ）

16 チャンネルを 1.5 秒おきにモニターしながら、全てのメモリーチャンネル、または全てのチャンネルをスキャンします。

● スキャンモード + トリプルウォッチ（⇒ 51 ページ）

16 チャンネルおよび優先チャンネル（PRIMARY CHANNEL）を 1.5 秒おきにモニターしながら、全てのメモリーチャンネル、または全てのチャンネルをスキャンします。

ウォッチモードについて


ウォッチモードは、特定のチャンネル * を一定間隔でモニターし、信号あるいは警報を受信した場合にはそのチャンネルに切り換えます。

* デュアルウォッチの場合

他のチャンネルを受信しながら 16 チャンネルを 1.5 秒おきにモニターします。

* トリプルウォッチの場合

他のチャンネルを受信しながら 16 チャンネルと優先チャンネル（PRIMARY CHANNEL）を 1.5 秒おきにモニターします。

 モニターは 1.5 秒間隔で行われます。ただし送信している間はモニターを行いません。

■ 操作モード・ウォッチモードについて (つづき)

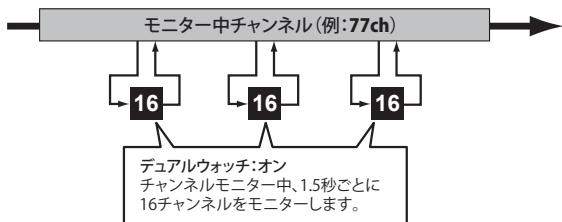
■ ノーマルモードとウォッチモードを組み合わせて運用する

ノーマルモード中に**DUAL**または**TRI**を押す

👉 解除するときにはもう一度押します。

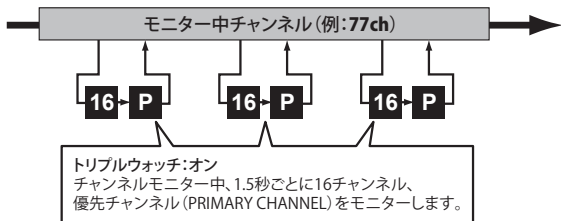
● デュアルウォッチの場合

1つのチャンネルをモニターしながら、16チャンネルを1.5秒おきにモニターします。



● トリプルウォッチの場合

1つのチャンネルをモニターしながら、16チャンネルおよび優先チャンネル (PRIMARY CHANNEL) を1.5秒おきにモニターします。



■ 操作モード・ウォッチモードについて (つづき)

メモリーチャンネルを設定する／解除する

スキャン操作をするには、あらかじめメモリー（スキャン対象）チャンネルを設定しておく必要があります。設定／解除は以下の手順で行います。

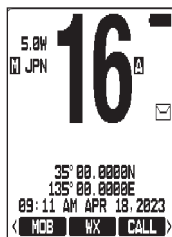
■ 選局中のチャンネルを設定する

1 設定（または解除）したいチャンネルを選ぶ

2 **MEM**を押す

設定されるとディスプレイに「M」が表示されます。
以降そのチャンネルを選局した際は、常に「M」が表示されます。

もう一度押すと解除されます。
（解除した場合は「M」が消えます。）



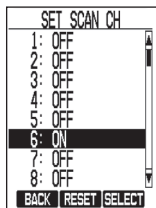
■ メニューで設定する

1 **[MENU]** キーを押し、**[▲]** **[▼]** キーで「SET SCAN CH」メニューを選ぶ

[▲] **[▼]** キーを押すと、設定画面が表示されます。

2 **[▲]** **[▼]** キーで設定（または解除）したいチャンネルを選び、**SELECT**を押して「オン」または「オフ」に設定する

RESETを押すと、すべてのチャンネルをオフにできます。



■ 操作モード・ウォッチモードについて (つづき)

スキャン操作のしかた

ご注意!

- ・ あらかじめメモリーチャンネルにチャンネルが2つ以上登録されていないと、スキャンモードは動作しません (➡前ページ)。
- ・ スキャン中は送信できません。

■ スキャンモードにする

MEMSCN (または **ALLSCN**) を押す

MEMSCN	全てのメモリーチャンネルをスキャンします。
ALLSCN	すべてのチャンネルをスキャンします。

ディスプレイには「M・SCAN」(または A・SCAN) の表示と、スキャン対象となるチャンネル番号が表示されます。

スキャン中に信号を受信するとスキャンを一時停止し、そのチャンネルを選局します。

スキャンを再開させたいときは [▲] キーを押してください。

☞ 選局中に受信した信号が途絶えた場合は、自動的にスキャンを再開します。

■ スキャンモードを終了する

(スキャンモード中に) **MEMSCN** (または **ALLSCN**) を押す
スキャンを終了します。

■ スキャンモードとウォッチモードを組み合わせて運用する

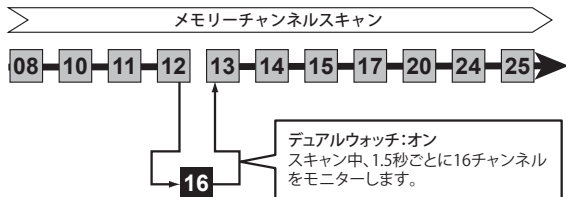
(スキャンモード中に) **DUAL** (または **TRI**) を押す

☞ 解除するときにはもう一度押します。

■ 操作モード・ウォッチモードについて (つづき)

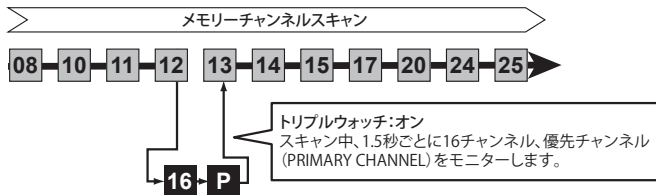
● デュアルウォッチの場合

16チャンネルを1.5秒おきにモニターしながら、全てのメモリーチャンネルをスキャンします。



● トリプルウォッチの場合

16チャンネルおよび優先チャンネル (PRIMARY CHANNEL) を1.5秒おきにモニターしながら、全てのメモリーチャンネルをスキャンします。



DSC (デジタル選択呼び出し) 機能について

DSC 機能をお使いになる前に

DSC とは

DSC (デジタル選択呼び出し) は、MMSI 番号を使用して、特定の相手局またはグループを素早く簡単に呼び出せる機能です。DSC 機能には以下の 4 種類があります。

DISTRESS コール (遭難警報)	※ 緊急時にのみ使用します。 地上局、および付近を航行する DSC 無線機を搭載したすべての船舶に対し、DISTRESS コール (遭難警報) を送信します。
個別呼び出し	特定の相手局を個別に呼び出します。 既に登録されている相手局の名前から探すか、または相手の MMSI 番号を入力して呼び出すことができます。
グループ呼び出し	グループ MMSI が同じすべての船舶を呼び出します。 グループ全体に同時に呼び出しするときに使用します。
全船呼び出し	※ 安全上の警告 (たとえば水中のデブリ)、または緊急事態にのみ使用します。 航行に注意を要す状況 (漂流物など) を知らせたり、トラブルなどで最寄の相手に救援を要請したいときなどに、信号の届く範囲を航行している船舶全てを呼び出すことができます。

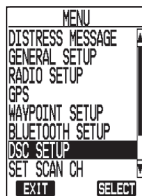
DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

DSC の設定

DSC の設定は必要に応じて変更できますが、初期設定をしておくことをおすすめ致します。

- 1 **[MENU]** キーを押し、「DSC SETUP」メニューを選び、**[SELECT]** を押す

「DSC SETUP」メニューが表示されます。



- 2 **[▲]** **[▼]** キーで項目を選び、設定する

RADIO MMSI NUMBER	自局の MMSI 番号を表示します。
CURRENT POSITION	現在位置を表示します。現在位置はマニュアル（手入力）で設定できますが、GPS データがある場合はマニュアル設定されたデータは上書きされます。
INDIVIDUAL DIR.	呼び出しを行うための個別の MMSI 番号を管理します。
GROUP DIRECTORY	呼び出しを行うための MMSI グループを管理します。

■ DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

INDIVIDUAL REPLY	<p>呼び出しへの応答を、自動または手動で行うかを選択します。 次の画面が表示されます。</p> <p>INDIVIDUAL CALL ACK. - 個別呼び出しに自動応答します。「AUTO」に設定すると、INDIVIDUAL ACK (ABLE または UNABLE) で選択した応答も送信されます。「MANUAL」に設定すると、返信するかどうかを手動で選択できます。</p> <p>POSITION REQUEST ACK. - 「AUTO」に設定すると、位置リクエストを受信するたびに、現在の位置を自動的に送信します。</p> <div data-bbox="425 532 964 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>ご注意!</p><ul style="list-style-type: none">・ 自動アクリリジメントは、位置情報要求に回答して現在位置を自動的に発信します。ほとんどの船舶運航者は、安全上の理由で、または船舶牽引サービスに加入しているため、自動位置応答をアクティブにしていますが、場合によっては (たとえば、競合状況によっては)、運航者が確認しないと他の船が自船の位置を取得できないことがあります。</div> <p>TEST CALL ACK. - テストコールの確認応答を設定します。</p>
INDIVIDUAL ACK	<p>個別呼び出しに対する応答を選択します。</p> <p>ABLE - 受信確認 (アクリリジメント) を送信し、指定された応答チャンネルに自動的に切り換わります。</p> <p>UNABLE - 相手局に呼び出しに回答できないことを知らせます。</p> <p>この情報は、「INDIVIDUAL CALL ACK」が「AUTO」に設定されている場合は自動的に送信されます。</p>
INDI. CALL RING	<p>個別呼び出しのアラームが鳴る時間を設定します。 (5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 1 分 / 2 分)</p>

■ DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

AUTO MOB SET	<p>「オン」に設定されている場合、水濡れセンサーが落水を検知して SOS ストロボが作動した際、DISTRESS MESSAGE (遭難メッセージ) が自動で MAN OVERBOARD (落水) に切り換わります。</p> <p>救助が必要な非常時には DISTRESS コール (遭難警報) を送信してください。(⇒ 75 ページ)</p> <div data-bbox="425 365 964 481" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>ご注意!</p><ul style="list-style-type: none">・「WATER ACTIVATED」(水濡れセンサー) (⇒ 41 ページ) が「オン」でないと作動しません。</div>
WAIT FOR POS FIX	<p>[DISTRESS] キーを押して位置情報なしで遭難警報を送信したときに、位置情報が利用可能になるまで無線機が待機する時間を設定します。</p> <p>(15 秒 / 30 秒 / 45 秒 / 1 分 / 2 分 / 5 分)</p>
AUTO POLLING TIME	<p>オートポーリング要求を待つ時間を設定します。</p> <p>(30 秒 / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分)</p>
AUTO POS POLLING	<p>オートポーリングによって送信されるメッセージとして、POSITION REQUEST または POSITION REPORT を設定します。</p> <p>この設定は、CALL ソフトウェアキーから「AUTO POLLING」を有効にして使用します。</p> <p>AUTO POS REQUEST - 他の個別船舶に位置を要求します。</p> <p>AUTO POS REPORT - 自船の位置を他の個別船舶に送信します。</p>
DSC ALARM SETUP	<p>特定のコールタイプのアラームのオン/オフを切り換えます。</p> <div data-bbox="425 1161 964 1249" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>ご注意!</p><ul style="list-style-type: none">・遭難警報タイプのアラームはオフにできません。</div>

DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

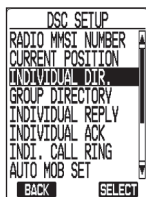
DSC の個別およびグループディレクトリの設定

DSC ディレクトリには、最大 100 個の個別 MMSI 番号と、50 個のグループ MMSI 番号を保存できます。また、MMSI 番号の追加、編集、削除も行えます。

■ 個別ディレクトリの管理

1 [MENU] キーを押し、「DSC SETUP」メニューを選ぶ

「DSC SETUP」メニューが表示されます。

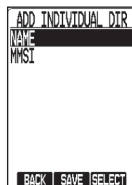
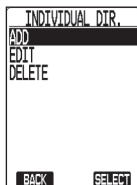


2 「INDIVIDUAL DIR」を選び、[SELECT]を押す

個別ディレクトリ画面が表示されます。

3 「ADD」を選び、[SELECT]を押す

「NAME」と「MMSI」が画面に表示されます。



ご注意!

- 既存の個別船舶を変更するには、手順3で「EDIT」を選び、表示されるリストからその船名を選択します。
- ディレクトリから個別の船舶を削除するには「DELETE」を選び、個別の船舶を選んで確定します。

4 「NAME」を選び、[SELECT]を押す

ポップアップキーボードが表示されます。

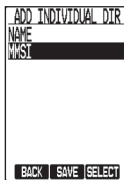
5 船名を入力後、[FINISH]を押す

※ 文字入力のしかた (⇒ 29 ページ)
個別ディレクトリ画面が再表示されます。



■ DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

6 「MMSI」を選び、**SELECT**を押す



7 MMSI 番号を入力する
[▲] [▼] キーで数字を選び、**SELECT** で決定して各桁を入力します。

8 入力後、**FINISH**を押す
個別ディレクトリ画面が再表示されます。



9 入力した MMSI 番号と船名を保存するには、**SAVE**を選ぶ

■ グループディレクトリの管理

ユーザー MMSI 番号とは異なり、グループ MMSI 番号は自分で作成できます。グループ MMSI 番号は何度でも変更できます。

1 **[MENU]** キーを押して「DSC SETUP」メニューを選ぶ
「DSC SETUP」メニューが表示されます。

2 「GROUP DIRECTORY」を選び、**SELECT**を押す
グループディレクトリ画面が表示されます。

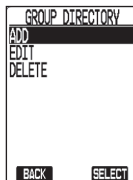


DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

- 3** 「ADD」を選び、**SELECT**を押す
「NAME」と「MMSI」が表示されます。

ご注意!

- 既存のグループを変更するには、手順3で「EDIT」を選び、表示されるリストから当該のグループ名を選択します。
ディレクトリからそのグループを削除するには、「DELETE」を選択して当該グループ名を選び、削除されたことを確認します。

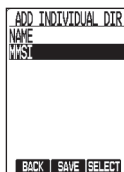


- 4** 「NAME」を選び、**SELECT**を押す
ポップアップキーボードが表示されます。



- 5** グループ名を入力後、**FINISH**を押す
※ 文字入力のしかた (→ 29 ページ)
グループディレクトリ画面が再表示されます。

- 6** 「MMSI」を選び、**SELECT**を押す



■ DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

- 7** グループの MMSI 番号を入力する
[▲] [▼] キーで数字を選び、**SELECT** で決定して各桁を入力します。

ご注意!

- ・ グループ MMSI 番号は 9 桁である必要があります。また、グループ MMSI のひと桁目の数字は「0」に固定されています。



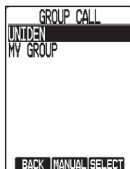
- 8** GROUP DIR 画面が再表示され、新たに追加されたグループ名と MMSI が表示される
- 9** 入力した MMSI 番号と船名を保存するには、**SAVE** を選ぶ

DSC 機能を使う

DSC コール

■ 個別呼び出し

- 1 送受信画面で**CALL**を押す
「CALL」メニューが表示されます。



- 2 [▲] [▼] キーで「INDIVIDUAL CALL」を選び、**SELECT**を押す

保存した局のリストを示す ID 選択画面が表示されます。

- 3 [▲] [▼] キーで呼び出したい相手局を選ぶ
選択した船舶の MMSI と送信チャンネルが表示されます。



- 4 [▲] [▼] キーでチャンネルを選ぶ

MANUALを押すと、船舶間チャンネルとすべての音声チャンネルとの切り換えができます。

- 5 **SEND**を押す

選択されたチャンネルで呼び出し要求を送信します。

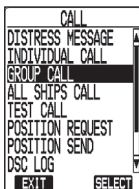
相手局が呼び出しを受け入れると、双方の無線機は音声送信のために選択された応答チャンネルに切り換わります。

- 6 相手局が応答しない場合は、**RESEND**または**EXIT**を押す

DSC 機能を使う (つづき)

■ グループ呼び出し

- 1** 送受信画面で **CALL** を押す
「CALL」メニューが表示されます。



- 2** [▲] [▼] キーで「GROUP CALL」を選び、**SELECT** を押す
グループ呼び出し画面が表示され、保存したグループの一覧が表示されます。

- 3** [▲] [▼] キーで呼び出したい相手局またはグループを選び、**SELECT** を押す

選択したグループの MMSI と送信チャンネルが表示されます。

MANUAL を押すと、船間チャンネルとすべての音声チャンネルを切り換えられます。



- 4** **SEND** を押す

選択されたチャンネルで呼び出し要求を送信します。

相手局が呼び出しを受け入れると、双方の無線機は音声送信のために選択された応答チャンネルに切り換わります。

- 5** 相手局が応答しない場合は、**RESEND** または **EXIT** を押す

DSC 機能を使う (つづき)

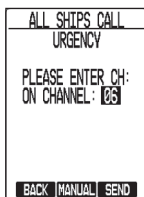
■全船呼び出し

全船呼び出しは、自船の範囲内のすべての DSC 無線機に連絡を行います。
安全警告 (水中のデブリなど) が発生した場合、または緊急時 (重大な問題があるが、まだ遭難していない状況) に支援を要請する場合にのみ使用します。

- 1** 送受信画面で **CALL** を押す
「CALL」メニューが表示されます。



- 2** [▲] [▼] キーで「ALL SHIPS CALL」を選び、**SELECT** を押す
全船呼び出し画面が表示され、「SAFETY」(安全性) または「URGENCY」(緊急性) を選ぶ画面が表示されます。



- 3** [▲] [▼] キーでいずれかを選び、送信するチャンネルを入力し、**SEND** を押す
送信された全船呼び出しの種類、呼び出しが送信されたチャンネル、およびカウントダウンクロックが表示されます。受信確認 (Acknowledge) を受信すると、指定された応答チャンネルに自動的に切り換わります。



- 4** カウントダウンクロックが終了すると、別のカウントダウンクロックを開始する
呼び出しは再送信するか、またはキャンセルできます。

DSC 機能を使う (つづき)

■ 呼び出しに応答する (個別呼び出し / グループ呼び出し / 全船呼び出し)

本機が他局から DSC コールを受信すると、着信アラームが鳴り、発信局またはグループの MMSI 番号と、その呼び出しのチャンネル番号が表示されます。

ご注意!

- ・ 本機には、遭難警報に受信確認 (Acknowledge) を送出する機能はありません。受信確認 (Acknowledge) を送出できるのは、海上保安庁または認定された捜索救助機関のみです。

1 警報を停止するには、**STOP ALARM** を押す

チャンネルが選択された状態でメイン画面に戻ります。



2 他の船舶と交信するには、呼び出し中に PTT (送信) スイッチを押し続ける

交信が終わったら、PTT (送信) スイッチから指を離します。

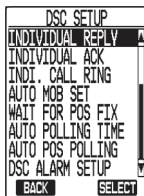
DSC 機能を使う (つづき)

■ 呼び出しへの自動応答

他局からテストコールや位置情報要求などの呼び出しが送信された際に、それらの呼び出しに手動で応答するか (MANUAL)、自動で応答するか (AUTO) を選択できます。

- 1** [MENU] キーを押して「DSC SETUP」メニューを選び、**SELECT** を押す

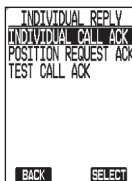
「DSC SETUP」メニューが表示されます。



- 2** 「INDIVIDUAL REPLY」を選び、**SELECT** を押す

個別応答画面が表示されます。

- 3** 着信した呼び出しの種類 (個別呼び出し、位置情報要求、またはテストコール) ごとに呼び出しの種類を選び、**SELECT** を押す



- 4** [▲] [▼] キーで「AUTO」を選び、**SELECT** を押す

「INDIVIDUAL REPLY」画面に戻ります。

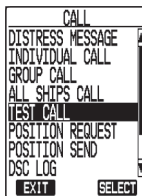
DSC 機能を使う (つづき)

■ テストコールの発信

点検の際など、本機が正しく動作していることを確認するため、特定の相手局にテスト信号を送出することができます。

1 送受信画面で **CALL** を押す

「CALL」メニューが表示されます。



2 [▲] [▼] キーで「TEST CALL」を選ぶ

自船の個別ディレクトリから船名リストが表示されます。

3 [▲] [▼] キーで船舶を選び、**SELECT** を押す

選択した相手局の情報が表示されます。



4 **SEND** を押す

TEST CALL 画面に「WAITING FOR ACK」のメッセージが表示されます。

受信確認〈Acknowledge〉を受信できない場合は再発信するか、または **BACK** を選択して元の画面に戻ります。

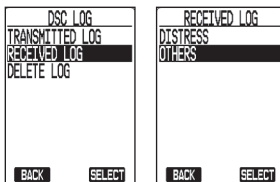
DSC 機能を使う (つづき)

DSC コールログ

本機は発信した呼び出し履歴と、DSC ログで受信した最新の履歴各 50 件を記憶しています。

未読の DSC コールを受信した場合は、画面にメッセージアイコンが表示されます。

- 1** 送受信画面で **CALL** を押す
「CALL」メニューが表示されます。



- 2** [▲] [▼] キーで「DSC LOG」を選ぶ

DSC ログ画面が表示され、履歴の種類（「TRANSMITTED LOG」と「RECEIVED LOG」）が表示されます。

- 3** 「TRANSMITTED LOG」または「RECEIVED LOG」を選ぶ

選んだいずれかの履歴の直近 50 件のログが表示されます。
ログは受信した順に表示され、最新のログが先頭に表示されます。

- 4** [▲] [▼] キーでログを選び、詳細を確認する

DSC コールの種類により、表示される情報は異なります（下表参照）。

DSC コールタイプ	ログの情報
Distress	MMSI (または船名)、位置、時刻、ネイチャーコード
Distress Acknowledge	MMSI (または船名)、遭難 MMSI、位置、時刻、ネイチャーコード
All Ships	MMSI (または船名)、カテゴリコード、通信チャンネル番号
Group	MMSI (または船名)、カテゴリコード、通信チャンネル番号
Individual	MMSI (または船名)、カテゴリコード、通信チャンネル番号

■ DSC 機能を使う (つづき)

DSC コールタイプ	ログの情報
Individual Acknowledge	MMSI (または名前)、Completed / Unattended、カテゴリコード、通信チャンネル番号
Test	MMSI (または船名)、カテゴリコード
Test Acknowledge	MMSI (または船名)、カテゴリコード
Pos Reply	MMSI (または船名)、位置、時刻、カテゴリコード
Pos Request	MMSI (または船名)、カテゴリコード
Pos Send	MMSI (または名前)、位置、時刻、カテゴリコード

5 特定のログのエントリを削除するには、**DELETE LOG**を押す

6 ログ画面を閉じるには、**BACK**を押す

DSC 機能を使う (つづき)

位置情報要求

■ 位置情報要求を送信する

特定の相手局の位置情報を知りたいとき、相手局に「位置情報要求」を送信することができます。

1 送受信画面で **CALL** を押す

「CALL」メニューが表示されます。



2 [▲] [▼] キーで「POSITION REQUEST」を選ぶ

位置情報要求画面が表示され、個別ディレクトリに登録されている船舶の一覧が表示されます。

3 [▲] [▼] キーで船舶を選び、**SELECT** を押す

※ ディレクトリにない局に連絡する場合は、**MANUAL** を押して呼び出したい MMSI 番号を入力します。
位置情報要求画面が表示されます。



4 **SEND** を押す

相手の船舶に位置情報要求を送信し、受信確認 (Acknowledge) を待ちます。
応答がない場合は、**EXIT** を押して元の画面に戻ります。

DSC 機能を使う (つづき)

■ 自局の位置情報を送信する

特定の相手局に自局の位置情報を送信することができます。

- 1 送受信画面で **CALL** を押す
「CALL」メニューが表示されます。

- 2 [▲] [▼] キーで「POSITION SEND」を選ぶ
位置情報送信画面が表示され、個別ディレクトリに登録されている船舶の一覧が表示されます。



- 3 [▲] [▼] キーを使って船舶を選び、**SELECT** を押す
ディレクトリにない局に連絡する場合は、**MANUAL** を押して呼び出したい MMSI 番号を入力します。
現在の位置情報とともに、連絡先の局の名前と MMSI 番号が表示されます。

- 4 **SEND** を押す
現在位置の情報が他局に送信されます。

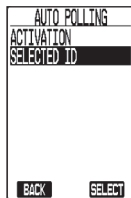
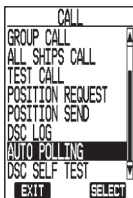
DSC 機能を使う (つづき)

■オートポーリングを使用する

オートポーリングを使用すると、最大7隻の個別船舶に対し、自動で位置情報要求を送信できます。また、最大7隻の個別船舶に対し、自動で自局の位置情報を送信できます。

1 送受信画面で**CALL**を押す

「CALL」メニューが表示されます。



2 [▲] [▼] キーで「AUTO POLLING」を選ぶ

オートポーリング画面が表示されます。

3 [▲] [▼] キーで「SELECTED ID」を選ぶ

IDの選択画面が表示されます。



4 [▲] [▼] キーで行を選び、**SELECT**を押す

IDの選択画面には、保存した個別ディレクトリの一覧が表示されます。



5 [▲] [▼] キーで船舶を選び、**SELECT**を押す

「SELECTED ID」リストが表示され、その連絡先がリスト表示されます。



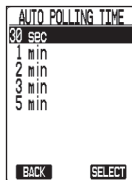
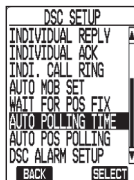
6 他の連絡先 (最大7件) に対し、手順4～5を繰り返す

終了後、[CLR] キーを押して送受信画面に戻ります。

DSC 機能を使う (つづき)

- 7** [MENU] キーを押し、「DSC SETUP」メニューから「AUTO POLLING TIME」を選び、**SELECT**を押す

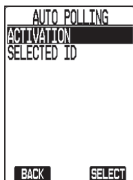
オートポーリング時間の選択画面が表示されます。



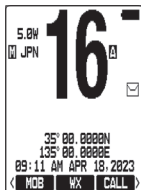
- 8** [▲] [▼] キーでオートポーリング時間を選び、**SELECT**を押す
「DSC SETUP」メニューが再表示されます。
[CLR] キーを押して送受信画面に戻ります。

- 9** 送受信画面で**CALL**を押し、「AUTO POLLING」を選ぶ
「AUTO POLLING」画面が表示されます。

- 10** [▲] [▼] キーで「ACTIVATION」を選び、**SELECT**を押す
「ACTIVATION」画面が表示されます。



- 11** オートポーリングを開始するには**START**を押す
オートポーリングが開始されると、画面に「A」アイコンが表示されます。



DSC 機能を使う (つづき)

DSC セルフテスト

DSC セルフテストを行います。

1 送受信画面で **CALL** を押す

「CALL」メニューが表示されます。

2 [▲] [▼] キーで「DSC SELF TEST」を選び、**SELECT** を押す

3 **START** を押す

問題がなければ「PASSED」が表示されます。

「FAIL」が表示された場合は、ユニデンカスタマーサービスにお問い合わせください (➡裏表紙)。

DSC 機能を使う (つづき)

DISTRESS コール (遭難警報) の受信

DISTRESS コール (遭難警報) を受信すると、本機は遭難警報音を鳴らし、遭難警報を送信した船舶の船名 (または MMSI)、遭難警報、緯度、経度、時刻、経過時刻を表示します。

いずれかのキーを押すと、遭難警報音が停止します。

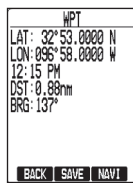
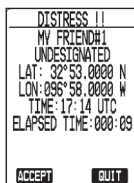
※ MMSI に一致するデータが個別ディレクトリ内にある場合は、船名が表示されます。
一致しない場合は、MMSI が表示されます。

1 STOP ALARM を押す



2 ACCEPT を押し、遭難警報内の位置データにウェイポイント (地点) を登録する

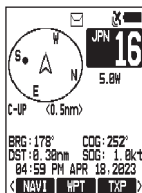
WPT 画面が表示されます。



3 SAVE を押し、座標をウェイポイントとして保存する

4 NAVI を押し、遭難警報を送信した船舶へのナビゲーションを開始する

COMPASS 画面が表示されます。



DSC 機能を使う (つづき)

DISTRESS コール (遭難警報) の自動送信

救助が必要な非常時には、下記の手順に従って DISTRESS コール (遭難警報) を送信してください。地上局、および付近を航行中の DSC 無線機を搭載したすべての船舶に対し、自動的に遭難警報を発信します。自動送信中は遭難アラート警報が鳴り、他局からの受信確認 (Acknowledge) を受信するまで、約 4 分ごとに遭難警報の送信を繰り返します。

ご注意!

- DISTRESS コール (遭難警報) は、救助が必要な非常時にのみ使用するものです。それ以外の場合には絶対に使用しないでください。
- DISTRESS コール (遭難警報) の送信には、あらかじめ自局の MMSI 番号を本機に設定しておく必要があります。(設定のしかた ⇒ 30 ページ)
- **[DISTRESS]** キーを押した際、「ENTER USER MMSI」と表示された場合は、自局の MMSI 番号が設定されていません。この場合は **[CLR SCAN]** キーを押して送信を中止し、16 チャンネルを使用した手動送信 (⇒ 12 ページ) を行ってください。

1 遭難メッセージの種類を選択する時間がある場合は、**[MENU]** キーを押し、**[▲]** **[▼]** キーで「DISTRESS MESSAGE」を選ぶ

遭難メッセージ画面が表示されます。

2 **[▲]** **[▼]** キーで、最も近い緊急事態の種類を選ぶ

UNDESIGNATED (不測の事態)	FIRE, EXPLOSION (火災、爆発)	FLOODING (浸水)	COLLISION (衝突)
GROUNDING (座礁)	CAPSIZING (転覆)	SINKING (沈没)	ADRIFT (漂流)
ABANDONING SHIP (船舶放棄)	PIRACY (海賊行為)	MAN OVERBOARD (落水)	

選択後、メインメニューに戻ります。

3 保護カバー (赤色) を上げ、**[DISTRESS]** キーを約 3 秒間長押しする 遭難アラート警報が鳴り、必要に応じて GPS 位置を取得します。

DSC 機能を使う (つづき)

4 3 秒間の長押しの後、CH70 がビジーでなければすぐに遭難警報の自動送信を開始する

他局が送信した受信確認 (Acknowledge) を受信するまで、自動的に遭難警報を約 3.5 ～ 4.5 分間隔で繰り返し送信し続けます。

- ※ 送信される遭難警報には以下の情報が含まれます。
 - ・遭難の種類、位置情報
- ※ 送信を開始すると遭難アラート警報のピーブ音が鳴り続けます。
- ※ 送信開始時は 70 チャンネル、その後 16 チャンネルに移行します。
- ※ 送信を中止するときは **CANCEL** を押します (⇒ 次項参照)。
- ※ **PAUSE** を 1 回押すと遭難アラート警報のピーブ音を消音します。さらにもう 1 回押すと「TX IN」のタイマーが停止し、遭難警報の送信を一時停止します。
- ※ 一時停止中に **RESUME** を押すと「TX IN」のタイマーが再開し、自動的に遭難警報を約 3.5 ～ 4.5 分間隔で繰り返し送信し続けます。

5 他局が送信した受信確認を受信すると遭難アラート警報が止まるので、PTT (送信) スイッチを押して以下の情報を伝える

- ① 「メーデー (MAYDAY)」あるいは「遭難」
- ② 「遭難船舶局の呼出名称 (呼出符号)、または他の識別表示」
- ③ 遭難した船舶の位置、遭難の種類および状況、ならびに必要な救助の種類、その他救助のため必要な事項

ご参考

- ・DISTRESS コール (遭難警報) には、自船の位置情報および時刻が自動的に含まれて送出されます。本機に GPS レシーバーを接続しておけば、常に最新の位置情報および時刻が登録されていますので、正確な情報を送信することができます。GPS の位置情報が受信できない場合、頻繁 (最低 4 時間おき) に手動にてこれらの情報を入力しなければなりません。安全な航行のため、GPS 測位ができる状態で運用されることを強くおすすめ致します。

■ DSC 機能を使う (つづき)

DISTRESS コール (遭難警報) の取り消し

誤って遭難警報を送信した場合は、直ちにその旨を海上保安庁へ通報してください。

1 **CANCEL** を押す

2 遭難警報の **CANCEL** が送信されたら **OK** を押す

3 マイクの送信 (PTT) スイッチを押しながら次の内容を伝える

- ① 「各局」 (3 回繰り返す)
- ② 「こちらは」
- ③ 船名 (3 回繰り返す)
- ④ 「自局の呼出符号または呼出名称」
- ⑤ 「〈MMSI 番号※〉の遭難警報を取り消します。」 (※自局の MMSI 番号)
- ⑥ 「遭難警報を発射した時刻」

4 引き続き 16 チャンネルを聴取する

5 電話や海岸局経由で、誤って遭難警報を送信した旨を海上保安庁へ通報する

■ MOB ソフトウェアキー

※ Man Overboard (MOB) ソフトウェアキーは、メニューからの設定は不要です。

本機はすぐに緯度、経度、時刻、BRG (Bearing to Destination : 目的地点方位)、DIST (Distance to Destination : 目的地点までの距離) を表示して保存します。

1 **MOB** を選ぶと、現在位置が自動的に Man Overboard として登録されるソフトウェアキーが **BACK**、**SAVE**、**NAV** に変わります。

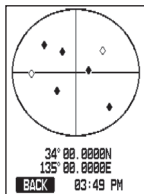
BACK	前のモードに戻り、現在の MOB 情報を保持します。
SAVE	位置を保存します。
NAV	COMPASS 画面を開き、目的地点までナビゲーションします。

GPS機能について

GPS 機能を使う

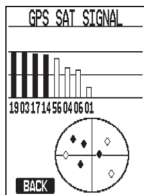
● 衛星のカバーエリアを表示する

[MENU] キーを押し、[▲] [▼] キーを使用して「GPS」メニューを開き、「GPS SIGNAL COVERAGE」を開きます。画面に衛星のカバーエリアが表示されます。黒い点はデータが有効な衛星、白い点はデータが無効な衛星を示します。



● 衛星電波の強さを表示する

「GPS」メニューから「SATELLITE SIGNAL」を選ぶと、衛星番号と電波強度を示すチャートが表示されます。



■ GPS の設定 (GPS メニュー)

GPS システムには自船の位置だけでなく、本機をより活用いただくためにカスタマイズ可能な機能がいくつか用意されています。

※ モデルとナビゲーションシステムにより、GPS メニューのオプションは異なります。

1 [MENU] キーを押し、[▲] [▼] キーで「GPS」メニューを開く

2 [▲] [▼] キーで設定したい項目を選び、**SELECT**を押す

GPS メニュー	
GPS SIGNAL COVERAGE	(上記「●衛星のカバーエリアを表示する」参照)
SATELLITE SIGNAL	(上記「●衛星電波の強さを表示する」参照)
GPS POWER SAVE	省電力モードのオン/オフを設定します。

GPS 機能を使う (つづき)

GPS メニュー	
TIME DISPLAY	ローカルタイムまたは UTC (UCT/GMT)、時刻表示形式 (12 時間表示または 24 時間表示)、サマータイムのオン/オフを設定します。(⇒ 46 ページ)
DIRECTION	COURSE UP (画面の上方がコース方向) または NORTH UP (画面の上方がコンパスの北方向) を選択します。
LOCATION ACCURACY	位置 (度: DDD)、分 (mm)、秒 (ss)、または DDD.mmm を設定します。
UNIT OF MEASURE	速度 (ノット、MPH、または KM/H) および距離 (海里、法定マイル、またはキロメートル) の測定単位を設定します。
STATIONARY POSITION	オンにすると、船舶が移動していない場合、表示された位置情報は固定されます。
POS DATA OUTPUT	位置データ出力のオン/オフを設定します。
NMEA0183 OUTPUT	送信する NMEA データを選択します。
NMEA0183 DATA SPEED	使用する NMEA データ速度を選択します。 (4800 bps または 38400 bps)
INTERNAL GPS	内部 GPS モジュールの電源オン/オフ、D-GPS の起動を行います。 UNIT POWER - 内部 GPS モジュールの電源オン/オフを選択します。 ※ DSC 機能を使用する場合は、必ず「ON」にしてください。 D-GPS - D-GPS のオン/オフを選択します。 ※ D-GPS は GPS の誤差を補正しますが、南半球では「OFF」にする必要があります。

ナビゲーション機能について

ナビゲーションを使う

ウェイポイント（地点）とルートを設定する

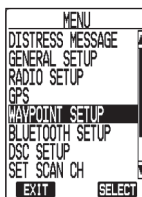
※ 目的地の緯度と経度はインターネットで検索することができます。

ウェイポイントディレクトリには、最大 250 個のウェイポイント（地点）を保存できます。

MK POS および **MOB** の各ソフトウェアキーで保存した位置情報も使用できます。

ウェイポイントを設定する

- 1 **[MENU]** キーを押し、**[▲]** **[▼]** キーで「WAYPOINT SETUP」メニューを表示する



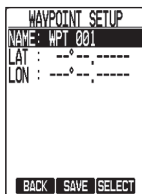
- 2 「WAYPOINT DIRECTORY」を選び、**SELECT**を押す

ウェイポイント設定画面が表示されます。



- 3 「ADD」を選び、**SELECT**を押す

「NAME」、「LAT」、「LON」が画面に表示されます。



ご注意!

- 既存のウェイポイントを変更するには、手順3で「EDIT」を選び、表示されるリストからウェイポイント名を選択します。ディレクトリからウェイポイントを削除するには、「DELETE」を選び、ウェイポイントを選択してから確定します。

■ ナビゲーションを使う (つづき)

- 4 [▲] [▼] キーで「NAME」を選び、**SELECT**を押す
ポップアップキーボードが表示されます。

- 5 キーボードでウェイポイントの名前を入力後、**FINISH**を押す

※ 文字入力のしかた (→ 29 ページ)
ウェイポイント設定画面に戻ります。

SET NAME			
WPT 001.....			
A	B	C	D
E	F	G	H
I	J	K	L
M	N	O	P
Q	R	S	T
U	V	W	X
Y	Z		
1	2	3	4
5	6	7	8
9	0	DEL	
<	>	??	abc
BACK		FINISH	SELECT

- 6 「LAT」を選んで**SELECT**を押し、[▲] [▼] キーで
ウェイポイントの緯度を入力する

POSITION	
ENTER LATITUDE	
00° 00.0000N	
BACK FINISH SELECT	

- 7 完了したら**FINISH**を押す
ウェイポイント設定画面に戻ります。

WAYPOINT SETUP	
NAME: WPT 001	
LAT : 34° 00.0000N	
LON : ---° --.-----	
BACK SAVE SELECT	

- 8 「LON」を選んで**SELECT**を押し、[▲] [▼] キー
でウェイポイントの経度を入力する

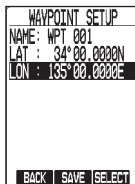
POSITION	
ENTER LONGITUDE	
135° 00.0000E	
BACK FINISH SELECT	

■ ナビゲーションを使う (つづき)

9 完了したら **FINISH** を押し、**SAVE** を押す

ウェイポイントの情報が表示された状態で、「WAYPOINT SETUP」画面が表示されます。

SAVE を押すと、ウェイポイントディレクトリに情報が保存されます。



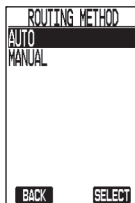
■ ルートを設定する

1 **[MENU]** キーを押し、**[▲]** **[▼]** キーで「WAYPOINT SETUP」メニューを表示する



2 **[▲]** **[▼]** キーで「ROUTING METHOD」を選び、**SELECT** を押す

AUTO	画面が自動的に次の目的地に変わります。
MANUAL	NEXT が押されるまで、次の目的地へのナビゲーションが開始されません。

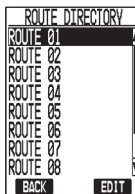


3 「ROUTE DIRECTORY」を選び、**SELECT** を押す

ルートディレクトリ画面に、利用可能なルートのリストが表示されます。

ご注意!

- これらの設定は、ナビゲーション中には、設定または変更できません。変更を行うためには、まずナビゲーションモードを終了します。



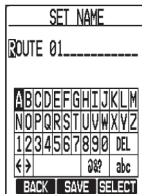
ナビゲーションを使う (つづき)

4 [▲] [▼] キーでルートを選び、**EDIT**を押す
「NAME」と「LIST」が画面に表示されます。

5 [▲] [▼] キーで「NAME」を選び、**SELECT**を押す
ポップアップキーボードが表示されます。

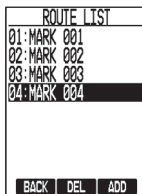
6 ウェイポイントの名前を入力し、
完了したら**SAVE**を押す

※ 文字入力のしかた (→ 29 ページ)
「NAME」と「LIST」が再度画面に表示されます。



7 LIST を選んで**SELECT**を押す
「ROUTE LIST」画面が表示されます。

8 **ADD**を押す
ポイントリスト画面が表示され、保存したウェイポイントのリストが表示されます。



9 ウェイポイントを追加するには、[▲] [▼] キーで
ウェイポイントを選び、**ADD**を押す

10 ルートに追加するウェイポイントごとに、手順 8 ~ 9 を繰り返す

ご注意!

- ・「01」の位置で選択したウェイポイントは、船舶をナビゲーションさせる最初のポイントになります。そのウェイポイントに到達すると、次のウェイポイント (02) に船舶をナビゲーションさせ、順次リストされているウェイポイントに従い、ナビゲーションを継続させます。

11 **BACK**を押して終了する

ナビゲーションを使う (つづき)

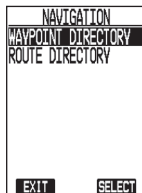
ナビゲーションを使う

NAVIを押すと、次の2つのメニューが表示されます。

WAYPOINT DIRECTORY	アクセスまたは編集のためにウェイポイントディレクトリを表示します。このリストには、 MOB および MK POS の各ソフトウェアキーによって保存された情報も含まれます。 (MOB および MK POS で登録された地点が編集されないまま保存されている場合は、それぞれ MOB 001、MOB 002…および MARK 001、MARK 002…と表示されます。)
ROUTE DIRECTORY	アクセスまたは編集のためにルートディレクトリを表示します。

■ ウェイポイントナビゲーションの開始

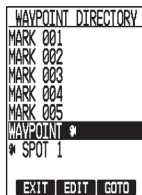
1 **NAVI**を押し、「**WAYPOINT DIRECTORY**」を選ぶ



2 目的地点のウェイポイントを選び、**GOTO**を押す
目的地点へのナビゲーションを開始します。

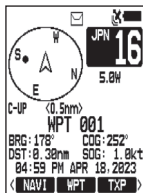
ご注意!

- ナビゲーションは、GPSからの位置情報がないと開始できません。ナビゲーション中に無線機を操作することはできませんが、ナビゲーション中に位置情報（目的地点またはルート）の編集や変更はできません。



ナビゲーションを使う (つづき)

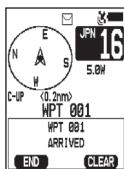
- 3** ナビゲーションを進めると、画面に位置情報が表示される



- 4** 目的地に到着すると到着メッセージが表示され、到着アラームが鳴る

ナビゲーションを続行する場合は **CLEAR**、終了する場合は **END** を押します。

- ※ ナビゲーションが続行された場合、通信可能範囲外に出た後に通信可能範囲に戻ると到着メッセージが表示され、再度到着アラームが鳴ります。



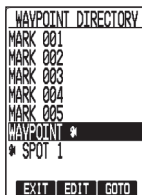
ご注意!

- ・ [CLR] キーを押すと、ナビゲーションを停止できます。

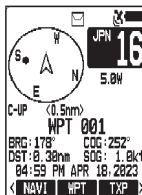
■ ナビゲーションを使う (つづき)

■ ルートナビゲーションの開始

- 1** 「ROUTE DIRECTORY」を選ぶ
ROUTE リストが表示されます。



- 2** 目的地点へのルートを選び、**GOTO**を押す
最初の目的地点へのナビゲーションを開始します。
※ **NEXT**を押すと、その目的地点をスキップできます。



- 3** 最初の目的地点に到着すると、到着アラームが鳴る
- ルーティング方法が「MANUAL」に設定されている場合、各目的地点に到着後、**NEXT**を押さない限り、次の目的地点へのナビゲーションは開始されません。
 - ルーティング方法が「AUTO」に設定されている場合、最初の目的地点に到着すると、次の目的地点へのナビゲーションが自動的に開始されます。
- ※ ルーティング方法の設定について (⇒ 80 ページ参照)
- 4** 目的地点に到着すると到着メッセージが表示され、到着アラームが鳴る
ナビゲーションを続行する場合は**CLEAR**、終了する場合は**END**を押します。
- ※ ナビゲーションが続行された場合、通信可能範囲外に出た後に通信可能範囲に戻ると到着メッセージが表示され、再度到着アラームが鳴ります。

■ ナビゲーションを使う (つづき)

■ パラメータの設定

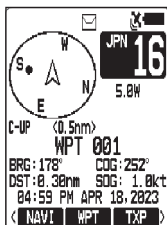
コンパスの表示範囲、およびコンパスの表示方法（コースが上方向、またはコンパスの北が上方向）は、GPSメニューで設定できます。（⇒ 78 ページ）

ナビゲーションシステムが目的地に到着したと判断する距離については、「WAYPOINT SETUP」メニューの「ARRIVAL ALARM」で設定することができます。（⇒ 91 ページ）

目的地を表すドットが画面に表示されます。目的地までの距離が表示範囲（丸の端に達するドットにより示される）を超えた場合は、「WAYPOINT SETUP」メニューの「DISPLAY RANGE」で表示範囲を手動で調整するか、「AUTO RANGE」に設定する必要があります。「DISPLAY RANGE」を「AUTO RANGE」に設定すると、画面上に目的地が表示され続けるよう表示範囲が自動的に調整されます。

ナビゲーション中、画面に次の情報が表示されます。

Destination	コンパス上にドットで示される目的地
C-UP/N-UP	Course UP (画面上方向がコース) / North UP (画面上方向が北)
表示範囲 (センターからの距離)	<0.5nm>
目的地	WPT1
BRG	Bearing (方位)
COG	Course over ground (対地コース)
DST	Distance (距離)
SOG	Speed over ground (対地速度)
01:29 PM	現在の時刻



NMEAについて

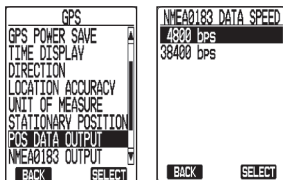
■ NMEA の運用

本機は船舶機器間のデータ通信規格である NMEA 0183 (バージョン 4.10) に対応しています。NMEA データには、船舶に関するさまざまなセンテンス (データ) が含まれており、無線機が DSC コールで別の船舶の位置データを受信すると、無線機は位置データを海図プロッターに送信し、位置が確認できるようにします。

DSC コール (遭難、位置応答、または位置送信) を受信すると、NMEA 出力ポートから DSC データと DSE データを次の形式で出力します。

- \$CDDSC,12,3081234000,,07,00,0354013946,0657,,,,S,E*6D
- \$CDDSE,1,1,A,3081234000,00,60875646*13

■ 位置データ出力



POS DATA OUTPUT	NMEA データ出力のオン・オフを設定します。
NMEA0183 OUTPUT	送信する NMEA データを選択します。
NMEA0183 DATA SPEED	使用する NMEA データ出力速度を設定します。 (4800bps または 38400bps)

NMEA デバイスが無線機からデータを受信しない場合は以下を確認します。

- ① アクセサリーケーブルの接続状態
※ 本体を充電器に載せていない場合は NMEA の出力はできません。
- ② NMEA0183 DATA OUTPUT のパラメータ設定
- ③ NMEA DATA SPEED のパラメータ確認
- ④ 「POS DATA OUTPUT」が「ON」になっていることを確認する (⇒ 79 ページ)

メニューについて

GENERAL SETUP（一般設定）メニュー

本機のおもな動作を設定します。

メニュー項目	説明	
BACKLIGHT	バックライトの明るさと色、および点灯時間を設定します。 (➡ 40 ページ)	
	BACKLIGHT LEVEL	1～8、オフ (初期値:6)
	BACKLIGHT COLOR	液晶ディスプレイ部のバックライトの色を WHITE (白色) または AMBER (アンバー色) に変更できます。
	BACKLIGHT TIMEOUT	5 秒、10 秒、30 秒、1 分、5 分、 または常時オン
CONTRAST/ RVS	液晶ディスプレイのコントラストを設定します。 [▲] [▼] キーでコントラストレベル(1～15、初期値:6)を設定します。 RVS を押しすと、液晶ディスプレイの白黒表示が反転します。	
KEY BEEP	キータッチ音の音量 (1～7) を設定するか、オフにします。 (➡ 41 ページ)	
SOS STROBE	本機前面にある LED ライトはストロボライトとしても機能します。 有効にする時間とタイムアウト時間 (10 秒、20 秒、30 秒、または 1 分) を設定します。(➡ 41 ページ)	
INACTIVITY TIMER	設定した時間 (1、2、3、5、8、10 分間) 操作が行われないと、画 面表示がオフになります。(➡ 41 ページ)	
KEY ASSIGNMENT	ソフトウェアキーの割り当てをカスタマイズできます。 (➡ 42 ページ)	

メニューについて (つづき)

RADIO SETUP (無線機設定) メニュー

本機の詳細な設定をします。チャンネルの名前を変更したり、チャンネルモードを設定したりすることができます。

メニュー項目	説明
CHANNEL MODE	チャンネルモード (JPN/INT/USA) を設定します。 日本、米国、または公海の水域でのみ、船舶チャンネルを選択できます。 (⇒ 43 ページ) 設定のしかた 1. [MENU] キーを押し、「RADIO SETUP/CHANNEL MODE」を選ぶと「CHANNEL MODE」画面が表示される。 2. JPN、USA、または INT を選び、 SELECT を押す。
WEATHER RADIO	ウェザーアラートをオンまたはオフにする、また S.A.M.E を追加、編集、削除します。(⇒ 43 ページ)
DUAL/TRI WATCH	バックグラウンドでチャンネル 16 と優先チャンネルをスキャンできます。(⇒ 43 ページ)
PRIORITY CHANNEL	トリプルウォッチ、EMG モードの優先チャンネルを設定します。 (⇒ 44 ページ)
SCAN PAUSE TIMER	チャンネルがクリアされてからスキャンが休止 (一時停止) するまでの時間 (1、2、3、4、5、10 秒) を設定します。(⇒ 44 ページ)
CHANNEL NAME	チャンネルの名前を変更します。(⇒ 45 ページ) 設定のしかた 1. [MENU] キーを押し、「RADIO SETUP/CHANNEL NAME」を選ぶと「CHANNEL NAME」画面が表示される。 2. [▲] [▼] キーでチャンネルを選び、 RENAME を押す。 3. CHANNEL NAME のテキスト編集画面が表示されるので、 [▲] [▼] [◀] [▶] の各キーで新しいチャンネル名を入力する。 4. 各文字の入力後 SELECT を押し、終了したら SAVE を押す。
NOISE CANCEL	送受信時のノイズキャンセルをオン/オフします。(⇒ 45 ページ)
RECEIVE AUDIO PITCH	受信音質を NORMAL (標準)、MIDRANGE (中域強調)、HIGHBOOST (高域強調)、LOW BOOST (低域強調) の 4 段階に設定します。 (⇒ 45 ページ)

■メニューについて(つづき)

GPS メニュー

GPS メニューについて (⇒ 78 ページ)

WAYPOINT SETUP メニュー

ウェイポイントに関する設定ができます。

メニュー項目	説明
WAYPOINT DIRECTORY	ウェイポイント名、緯度、経度を追加、編集、および削除します。
ROUTE DIRECTORY	ウェイポイントディレクトリに作成されたウェイポイントを使用して、開始点と終了点間のナビゲーションコース(ルート)を作成します。 (⇒ 82 ページ)
ROUTING METHOD	ルート上の次の目的点への船舶のナビゲーション方法を決定する。 AUTO - 画面が自動的に次の目的地点に変わります。 MANUAL - NEXT が押されるまで、次の目的地点へのナビゲーションが開始されません。
DISPLAY RANGE	コンパス画面に表示される距離を設定します。
ARRIVAL ALARM	目的地点にどのくらいの距離に近づいたときに到着アラーム音を鳴らすかを設定します。

メニューについて (つづき)

DSC SETUP メニュー

DSC の運用に関する設定ができます。

メニュー項目	説明
RADIO MMSI NUMBER	自局の MMSI 番号を表示します。 MMSI 番号が設定されていない場合は番号を入力できます。 (⇒ 30 ページ)
CURRENT POSITION	「CURRENT POSITION」を選んで現在位置を確認するか、現在位置を手動で入力します。
INDIVIDUAL DIR.	呼び出しを行うための個別の MMSI 番号を作成します。 (⇒ 57 ページ)
GROUP DIRECTORY	グループ MMSI 番号を作成し、他の船舶と共有してグループを作成します。(⇒ 58 ページ)
INDIVIDUAL REPLY	呼び出し (個別の着信コール、位置リクエスト、およびテストコール) への応答を、自動または手動で行うかを選択します。
INDIVIDUAL ACK	受信確認 (Acknowledge) 要求を、自動または手動で行うかを選択します。
INDI. CALL RING	個別呼び出しのアラームが鳴る時間を設定します。 (5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 1 分 / 2 分)
AUTO MOB SET	「オン」に設定されている場合、水濡れセンサーが落水を検知して SOS ストロボが作動した際、DISTRESS MESSAGE (遭難メッセージ) が自動で MAN OVERBOARD (落水) に切り換わります。 救助が必要な非常時には DISTRESS コール (遭難警報) を送信してください。(⇒ 75 ページ) ※「WATER ACTIVATED」(水濡れセンサー) (⇒ 41 ページ) が「オン」でないと作動しません。
WAIT FOR POS FIX	有効な位置データなしで遭難警報を送信するまでの待機時間を設定します。 (15 秒 / 30 秒 / 45 秒 / 1 分 / 2 分 / 5 分)
AUTO POLLING TIME	オートポーリングを有効にした場合には、位置情報の送受信の間隔を設定します。(30 秒 / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分)

■ メニューについて (つづき)

AUTO POS POLLING	AUTO POS REQUEST - 他の個別船舶に、位置を要求します。 AUTO POS REPORT - 自船の位置を他の個別船舶に送信します。
DSC ALARM SETUP	特定の DSC コールタイプのアラームのオン/オフを切り換えます。 <div data-bbox="317 270 835 350" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ご注意! ・ 遭難警報のアラームはオフにできません。</div>

SET SCAN CH メニュー

メモリスキャンに含めるチャンネルを設定します。(⇒ 50 ページ)

リセットを選ぶと、設定されているすべてのチャンネルがスキャン対象からはずれずれます。

ABOUT メニュー

本機に登録されている MMSI 番号と、現在のソフトウェア・ハードウェアの各バージョン No. が確認できます。

RESET メニュー

本機の設定を工場出荷時の状態に戻します (MMSI 番号とソフトウェア・ハードウェアのバージョンを除く)。(⇒ 96 ページ)

■ 故障かなと思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。

次のことを調べても、なお異常があるときは、<ユニデンダイレクト>お客様センターへお電話いただくか、または<ユニデンダイレクト>ホームページよりお問い合わせください。(☞裏表紙をご覧ください。)

症 状	ここをチェック	対 処	参照 ページ
電源が入らない	バッテリーが正しく取り付けられていますか？	バッテリーの取り付けを確認してください。	21
	バッテリーが充電されていない。	バッテリーを充電してください。	25
充電器の充電ランプが点灯しない	周囲温度が0°C未満または45°C以上になっていませんか？	適用温度範囲内の環境で充電してください。	—
	本体および充電器の充電端子が汚れていませんか？	本体および充電器の充電端子をきれいにする。	—
スピーカーから音が出ない	スケルチレベルが高すぎませんか？	スケルチレベルを雑音が聞こえだす直前のレベルに設定してください。	28
	音量レベルが小さすぎませんか？	音量を適切なレベルに設定してください。	28
	スピーカーに水がかかっていませんか？	SPKR を押して水を弾き飛ばしてから、完全に乾くまでお待ちください。	38
スピーカーから常に雑音がる	スケルチレベルが低すぎませんか？	スケルチレベルを雑音が聞こえだす直前のレベルに設定してください。	28
送信が停止する	一度に5分以上連続して送信していませんか？	一旦送信を終了し、再度送信してください。	33

■故障かなと思ったら (つづき)

症 状	ここをチェック	対 処	参照 ページ
他の送信出力を選択できない	1W 出力専用のチャンネルを選択していませんか？	チャンネルを変更してください。	32, 97
送信はできるが応答がない	日本チャンネル以外のチャンネルに設定されていませんか？	SETUP メニューで日本チャンネルを選択してください。 ・ 日本チャンネルを選択すると、ディスプレイ部に「JPN」と表示されます。	27
DISTRESS コール (遭難警報) の送信ができない	自局の MMSI 番号は本機に設定してありますか？	あらかじめ自局の MMSI 番号を本機に設定しておく必要があります。	30
GPS の位置情報が受信できない	船室内にいる、または本機の周囲に障害物などありませんか？	本機の位置を変えてみてください。	—
	「UNIT POWER」設定がオフになっていませんか？	GPS メニューの「INTERNAL GPS」「UNIT POWER」がオンになっていることを確認してください。	79
メモリースキャンがスタートしない	メモリー(スキャン対象)チャンネルが2つ以上、設定されていますか？	メモリー(スキャン対象)チャンネルにチャンネルを2つ以上設定してください。	50
キーを押しても音が鳴らない	キータッチ音機能の設定がオフになっていませんか？	キータッチ音機能の設定をオンにしてください。	41
チャンネル番号が点滅する	スキャンモード、ウォッチモードに設定していませんか？	スキャンモード、ウォッチモード中はチャンネル表示部にスキャン中のチャンネル番号が交互に表示されるため、異常ではありません。	49, 51

■ 故障かなと思ったら (つづき)

症 状	ここをチェック	対 処	参照 ページ
電源をオンにすると、「POSITION DATA NOT ACQUIRED」というメッセージが表示される	搭載 GPS の設定がオフになっていませんか？	GPS の設定を確認してください。あるいは手動 (MANUAL) で位置情報を設定してください。	78

工場出荷時の設定に戻す

本機のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

ご注意！

- ・ 自局の MMSI 番号は消去できません。

1 **[MENU]** キーを押し、**[▲]** **[▼]** キーで「RESET」を選ぶ
RESET 画面が表示されます。

2 **YES** を押す
本機が再起動し、すべての設定が工場出荷時の設定に戻ります。

■チャンネルリスト

CH	周波数 (MHz)	
	送信	受信
01	156.050	160.650
02	156.100	160.700
03	156.150	160.750
04	156.200	160.800
05	156.250	160.850
06	156.300	156.300
07	156.350	160.950
08	156.400	156.400
09	156.450	156.450
10	156.500	156.500
11	156.550	156.550
12	156.600	156.600
13	156.650	156.650
14	156.700	156.700
15*	156.750	156.750
16	156.800	156.800
17*	156.850	156.850
18	156.900	161.500
19	156.950	161.550
20	157.000	161.600
21	157.050	161.650
22	157.100	161.700
23	157.150	161.750
24	157.200	161.800
25	157.250	161.850
26	157.300	161.900
27	157.350	161.950
28	157.400	162.000
60	156.025	160.625
61	156.075	160.675
62	156.125	160.725
63	156.175	160.775

CH	周波数 (MHz)	
	送信	受信
64	156.225	160.825
65	156.275	160.875
66	156.325	160.925
67	156.375	156.375
68	156.425	156.425
69	156.475	156.475
70**	156.525	156.525
71	156.575	156.575
72	156.625	156.625
73	156.675	156.675
74	156.725	156.725
75*	156.775	156.775
76*	156.825	156.825
77	156.875	156.875
78	156.925	161.525
79	156.975	161.575
80	157.025	161.625
81	157.075	161.675
82	157.125	161.725
83	157.175	161.775
84	157.225	161.825
85	157.275	161.875
86	157.325	161.925
87	157.375	157.375
88	157.425	157.425

* 1W 出力専用のチャンネルです。

** DSC 送受信専用のチャンネルです。
(選択できません)

おもな仕様

一般仕様	
日本チャンネル (JPN)	送信周波数範囲：156.025 ~ 157.425MHz
	受信周波数範囲：156.300 ~ 162.000MHz
ウェザーチャンネル (WX)	受信周波数範囲：161.650 ~ 163.275MHz
※ ウェザーチャンネルは米国、およびカナダで放送・運用されているサービスのため、日本の国内、海域および近海では受信できません。	
チャンネル数	57ch (日本チャンネル)
	10ch (ウェザーチャンネル)
電波型式	音声：F3E、DSC：F2B
使用温度範囲	-20°C ~ +50°C
電源電圧	弊社指定のバッテリー/バッテリーケースに限る
消費電流 (7.5V 時)	約 1.3A (送信時：5W)
	約 0.9A (送信時：2.5W)
	約 0.5A (送信時：1W)
	約 150mA (待ち受け時 GPSON)
	約 130mA (待ち受け時 GPS OFF)
バッテリー持続時間	約 9 時間
	(送信 5、受信 5、待ち受け 90 の割合で使用した場合)
充電時間	約 5 時間
充電温度範囲	0°C ~ +45°C
アンテナインピーダンス	50 Ω (不平衡)
外形寸法 (突起部を除く)	約 65.1 (W) × 145.5 (H) × 42.3 (D) mm
重量	約 313g

送信部	
送信出力	5W/2.5W/1W
変調方式	リアクタンス変調
最大周波数偏移	± 5.0kHz
スプリアス発射強度	3.125 μW 以下

■ おもな仕様 (つづき)

受信部	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	-12.4dB μ (Typ.) 12dB SINAD
オーディオ出力	約 700mW (16 Ω 、10% 歪時)

- 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 識別表示は電池ボックス内に記載してあります。

■ 別売品一覧

付属品別売 (本製品に付属の ものと同じです)	品番	品名
	ALK338	アルカリバッテリーケース
	BT338	リチウムイオンバッテリーパック
	BC338	ベルトクリップ
	AD338	AC アダプター
	WZ2023	インターフェースケーブル
	AT0665	アンテナ
	WZ2037	シガーアダプター
	CHGSCW338	充電器取付けネジ一式
CHG338	充電器本体	
別売品 (オプション)	品番	品名
	ZA0172	スピーカーマイク

最新の商品情報やサポート情報は、ホームページにてご覧いただけます。

http://www.uniden.co.jp/uniden_jp/



安全に関するご注意

ご使用の前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。

- 取り付け・取りはずしは専門の技術者に依頼してください。
- 操船や乗り降りの妨げにならないように配線してください。

取扱説明書は、右記のホームページにてご覧いただけます。

http://www.uniden.co.jp/uniden_jp/support/manualdl.html

愛情点検



長年ご使用の製品の点検を！

熱、湿度、ホコリの影響や、使用度合によっては部品が変化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながる場合があります。

このような
症状は
ありませんか

- ケーブルが傷んでいる。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 内部に水や異物が入った。
- 正常に動作しなくなった。

ご使用中止

故障や事故防止のため、本機を取り外し必ず<ユニデン>お客様センターにご相談ください。

保証書に関するお願い

- 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、領収書や納品書などのご購入証明書と共に大切に保管してください。
- 保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。保証期間中でも有償修理になる場合があります。
- 本製品の補修用修理部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。但し、部品製造者側での早期製造打ち切りや入手困難な状況に伴い、期間満了以前に対応出来なくなる場合がありますので予めご了承願います。

注意事項

- 本機は日本国内向け仕様となっております。
- 製品の仕様およびデザインは、改善等のため予告無く変更する場合があります。
- お客様から弊社にお電話にてご連絡いただいた場合、正確な対応のため、通話内容を記録・録音させていただくことがあります。
- ユニデンホールディングス株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や配送・修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
- 電話受付時間は、諸般の事情により予告無く変更する場合があります。電話受付は、土・日・祝日・年末年始など特定の期間に休ませていただく場合があります。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の登録商標または商標です。

<ユニデン> お客様センター

当社製品のお取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

サポートダイヤル

03-5543-2232

E-mail

usupport@uniden.co.jp

<ユニデン> 製品情報サイト

http://www.uniden.co.jp/uniden_jp/

MHS338GJ 取扱説明書

発行日：2023年4月 第1版

ユニデンホールディングス株式会社

〒104-8512 東京都中央区八丁堀 2-12-7

<http://www.uniden.co.jp/>

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。

あらかじめ、ご了承ください。本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

©Uniden Holdings Corporation

U01UT665AZZ(0)